

神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2024年8月号)

2024年8月27日



KOBE TOURISM BUREAU
神戸観光局

1. 今月のトピックス

- ・2023年年間 神戸市延べ宿泊者数（確定値） 全国 外国人 P.2～9
- ・国内OTAデータ モニタリング2024年上半期報告 神戸 国内 P.10～17
- ・神戸観光局SNS情報 神戸 国内 P.18～19

2. 市内宿泊の動向

- ・国内OTAデータ モニタリング速報 神戸 国内 P.20～24

3. 市内宿泊の動向②

- ・延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県、神戸市）[推計値] 神戸 全国 関西 国内 外国人 P.25～30
- ・市内ホテル平均稼働率 神戸 P.31

4. 全国のインバウンドに関する情報

- ・2024年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況 全国 外国人 P.32～34

5. 交通機関に関する情報

- ・関西国際空港・神戸空港の利用状況 関西 P.36
- ・関西国際空港 国際線入国状況 関西 外国人 P.37
- ・旅客ターミナル クルーズ船寄港実績 神戸 P.38～39
- ・【クルーズ船】9月の入港予定情報 神戸 P.40

6. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～ 神戸

- ・市内観光案(国内)観光客案内件数、(訪日)国籍別対応状況、最新対応概況 国内 外国人 P.42～44
- ・主要市内観光施設来場者数 神戸 P.45
- ・神戸市内大型施設の主な催事情報(9～10月) 神戸 P.46

- 参考資料集 P.47～

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります。内容によって取扱い月が異なります。



今月のトピックス①

< 市内宿泊の動向 >
2023年年間 神戸市延べ宿泊者数
エリア別分析 (確定値)

2023年年間 神戸市延べ宿泊者数 エリア別分析 (確定値)

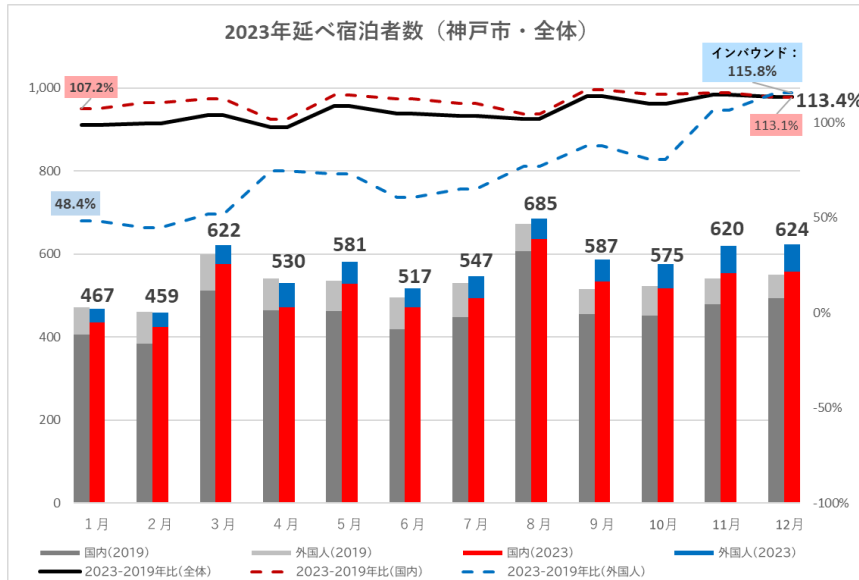


観光庁「宿泊旅行統計」の確定値が2024年6月に公表されたことに伴い、これまで同統計2次速報をもとに試算していた神戸市延べ宿泊者数について、確定値情報をもとに市内延べ宿泊者数を再度算出いたしました。

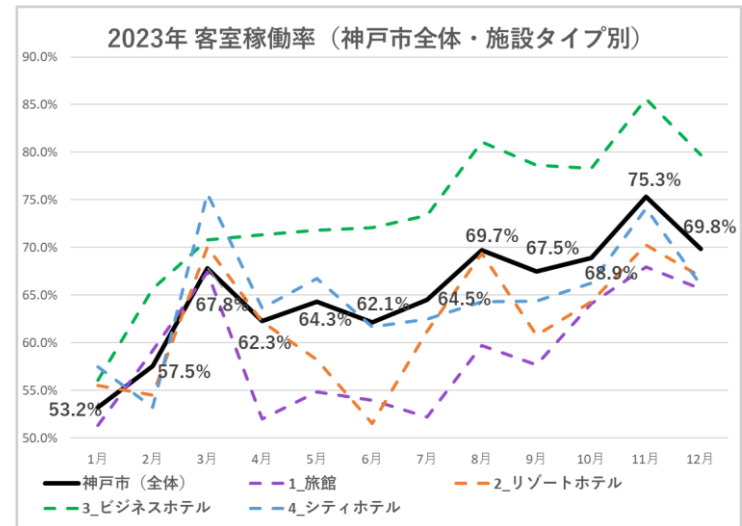
■2023年年間 神戸市全体 延べ宿泊者数 拡大推計値 (確定値)

全体	681.5万人泊 (2019年比: 107.3%)	※2019年: 635.1万人 ※2023年速報値: 628.6万人
うち国内	620.0万人泊 (2019年比: 110.5%)	※2019年: 561.1万人 ※2023年速報値: 570.3万人
うち外国人	61.5万人泊 (2019年比: 83.2%)	※2019年: 73.9万人 ※2023年速報値: 58.2万人

出典: 観光庁「宿泊旅行統計調査」
令和5年各月確定値調査票個別データを基に神戸観光局で拡大推計値を独自試算
※2019年延べ宿泊者数 出典: 「観光予報プラットフォーム」より集計



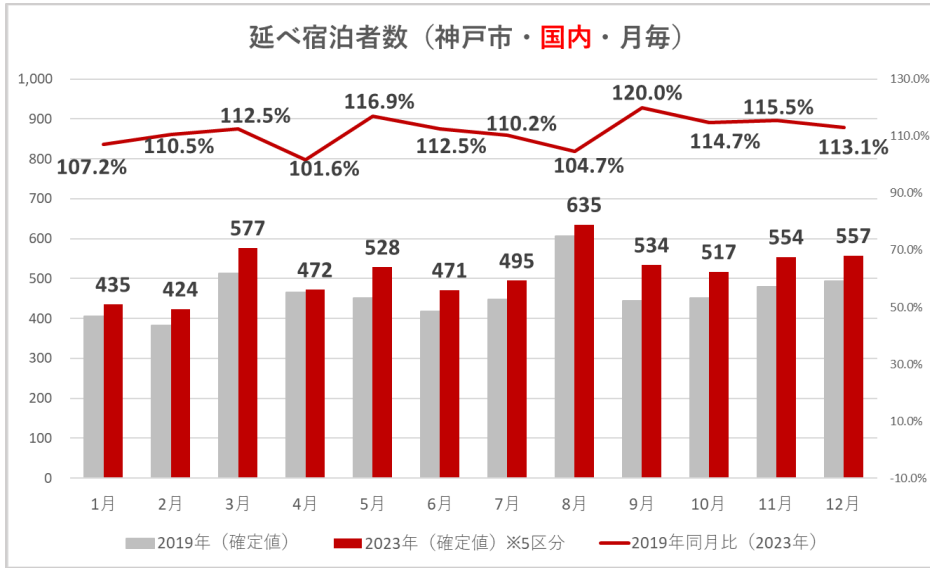
< 参考・客室稼働率 >



出典: 観光庁「宿泊旅行統計調査」
令和1年・令和5年1月~12月 各月確定値調査票個別データより分析

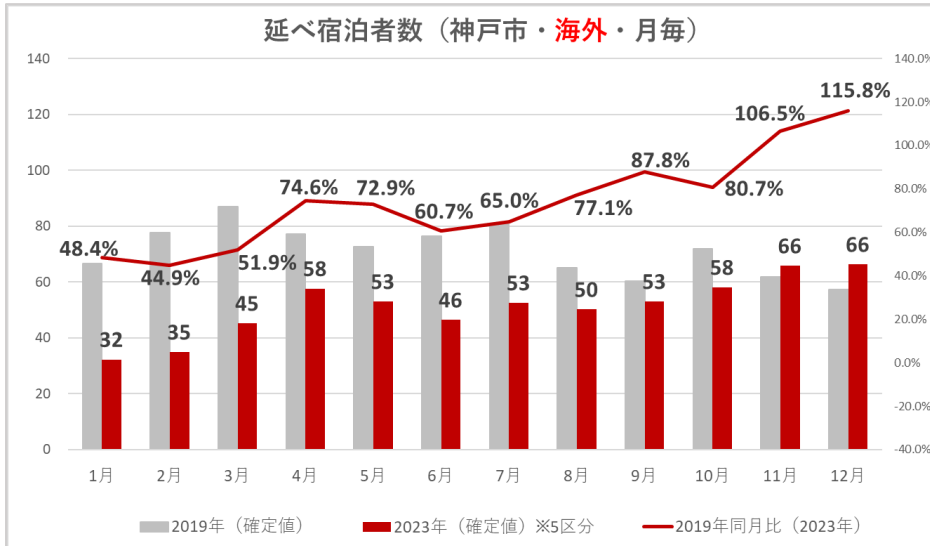
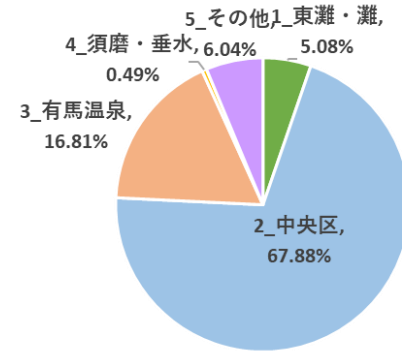
2023年年間 神戸市延べ宿泊者数 エリア別分析（確定値）

2023年年間 神戸市全体



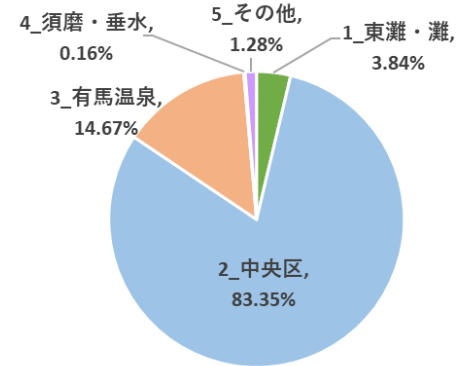
（国内）年間平均泊数：1.28泊

エリア別泊数シェア（国内）



（外国人）年間平均泊数：1.48泊

エリア別泊数シェア（外国人）



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」
令和5年1月～12月 各月確定値調査票個別データより分析

2023年年間 神戸市延べ宿泊者数 エリア別分析 (確定値)

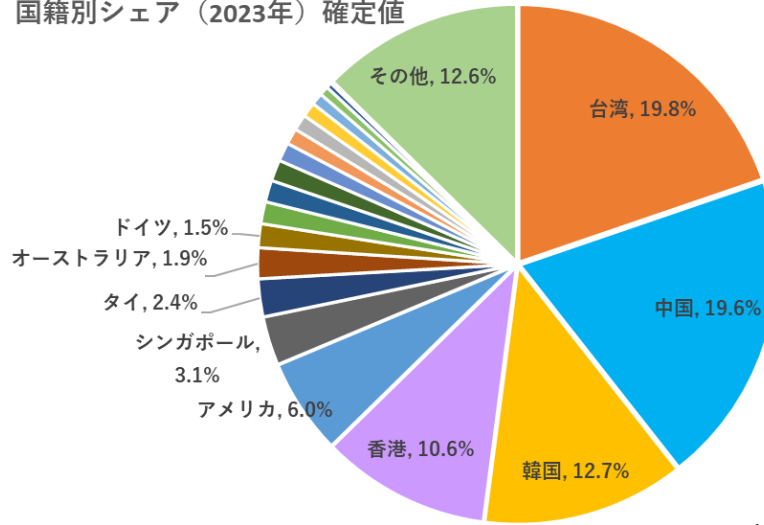
2023年年間 神戸市全体

神戸市 (全体) 外国人延べ宿泊者数

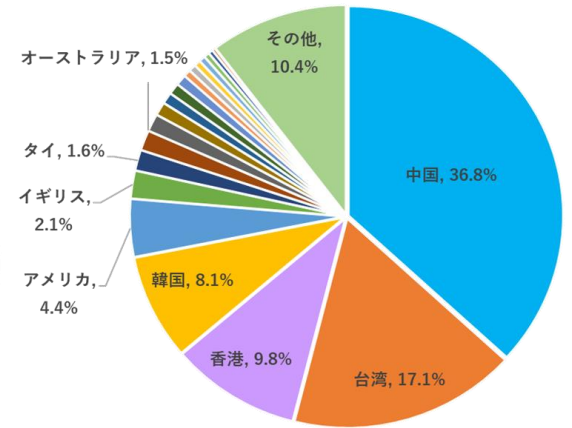
<国籍別分析>

国籍別シェア (2023年) 確定値

順位	国	年計
1	台湾	19.8%
2	中国	19.6%
3	韓国	12.7%
4	香港	10.6%
5	アメリカ	6.0%
6	シンガポール	3.1%
7	タイ	2.4%
8	オーストラリア	1.9%
9	ドイツ	1.5%
10	イギリス	1.4%
11	マレーシア	1.4%
12	フランス	1.3%
13	カナダ	1.2%
14	インド	1.0%
15	フィリピン	1.0%
16	スペイン	0.9%
17	インドネシア	0.7%
18	ベトナム	0.6%
19	イタリア	0.3%
20	ロシア	0.1%
21	その他	12.6%

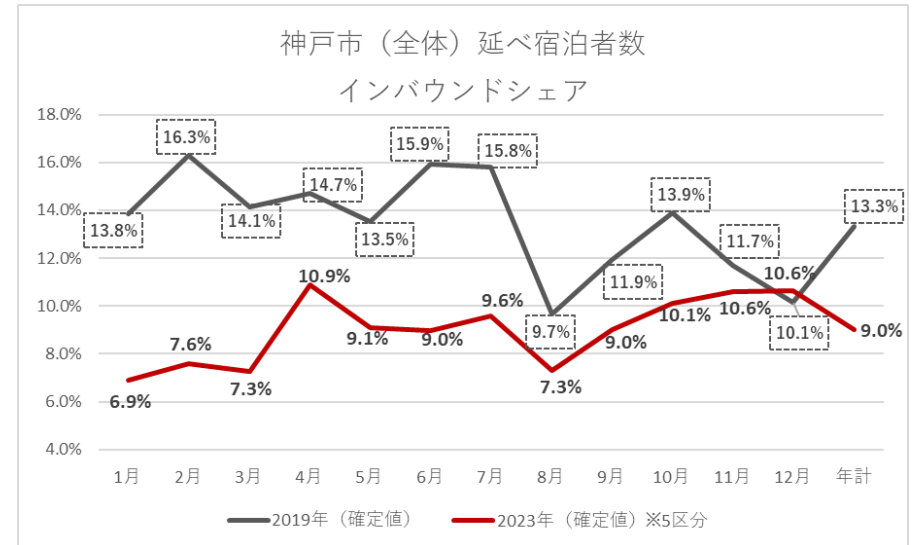


神戸市 (全体) 外国人延べ宿泊者数
国籍別シェア (2019年)



<インバウンド比率>

コロナ前から
台湾・中国が多い

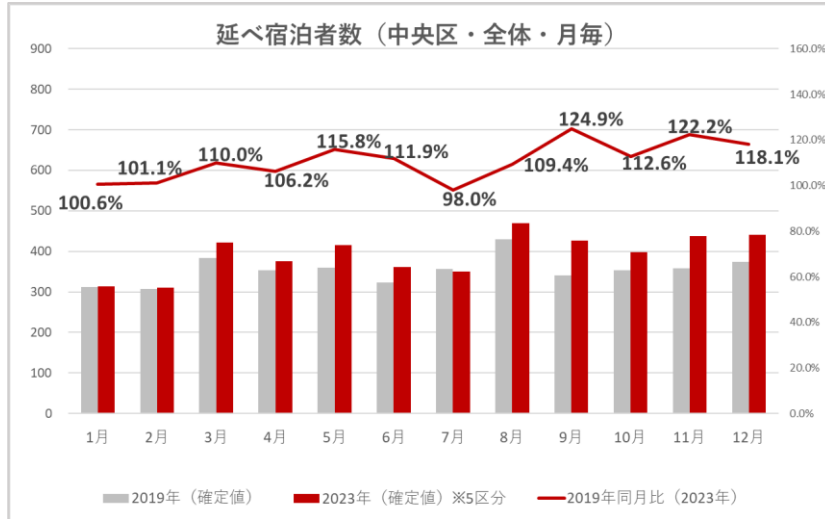


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」
令和1年・令和5年1月～12月 毎月確定値調査票個別データより分析

2023年年間 神戸市延べ宿泊者数 エリア別分析（確定値）

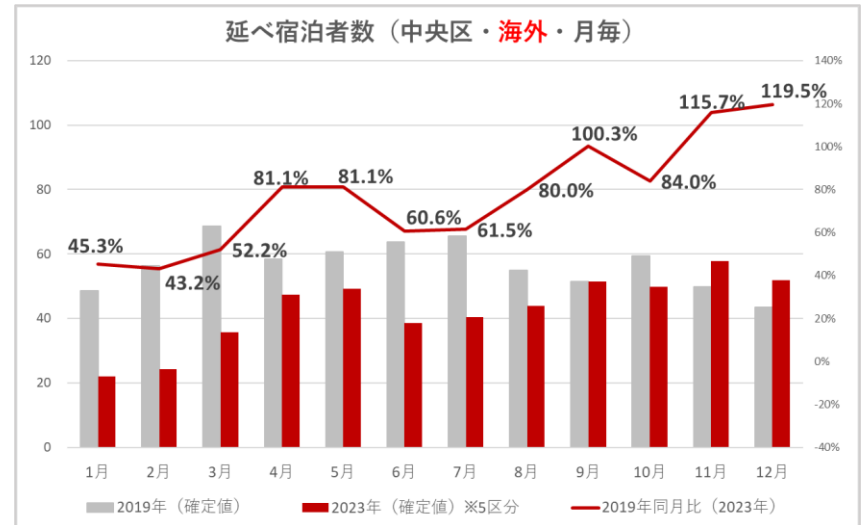
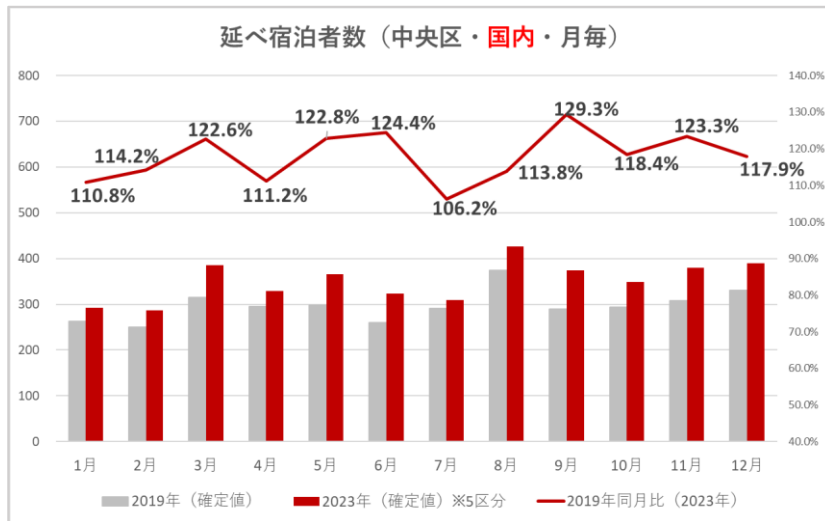


2023年年間 神戸市中央区（市全体の70%の宿泊者数が集中）



全体	2019年比：111.1%
うち国内	2019年比：117.9%
うち外国人	2019年比：75.3%

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」
令和1年・令和5年1月～12月 各月確定値調査票個別データより分析



（国内）年間平均泊数：1.33泊

（外国人）年間平均泊数：1.56泊

2023年年間 神戸市延べ宿泊者数 エリア別分析 (確定値)

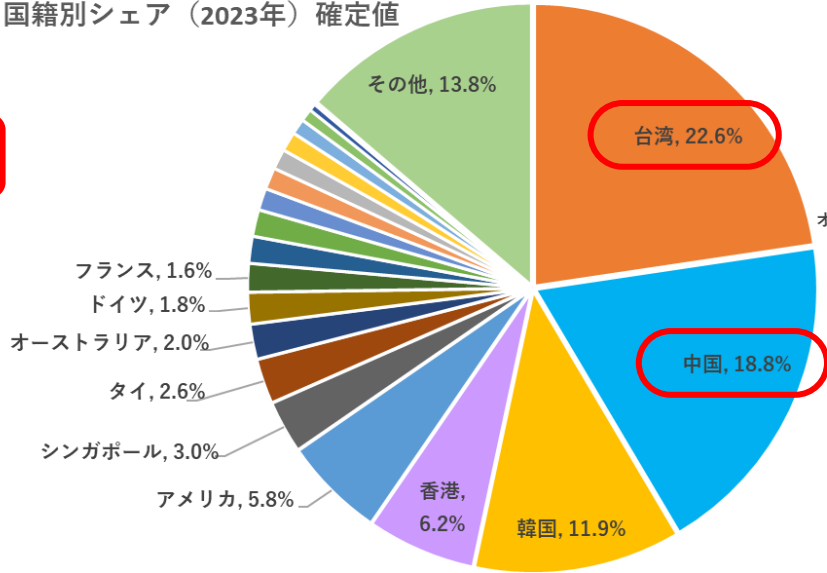


2023年年間 神戸市中央区 (市全体の70%の宿泊者数が集中)

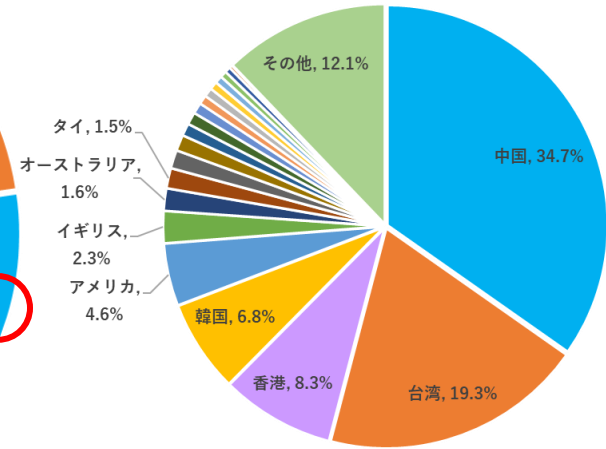
< 国籍別分析 >

順位	国	年計
1	台湾	22.6%
2	中国	18.8%
3	韓国	11.9%
4	香港	6.2%
5	アメリカ	5.8%
6	シンガポール	3.0%
7	タイ	2.6%
8	オーストラリア	2.0%
9	ドイツ	1.8%
10	フランス	1.6%
11	マレーシア	1.5%
12	イギリス	1.5%
13	インド	1.2%
14	フィリピン	1.2%
15	スペイン	1.1%
16	カナダ	1.1%
17	インドネシア	0.9%
18	ベトナム	0.7%
19	イタリア	0.4%
20	ロシア	0.1%
21	その他	13.8%

中央区 外国人延べ宿泊者数
国籍別シェア (2023年) 確定値

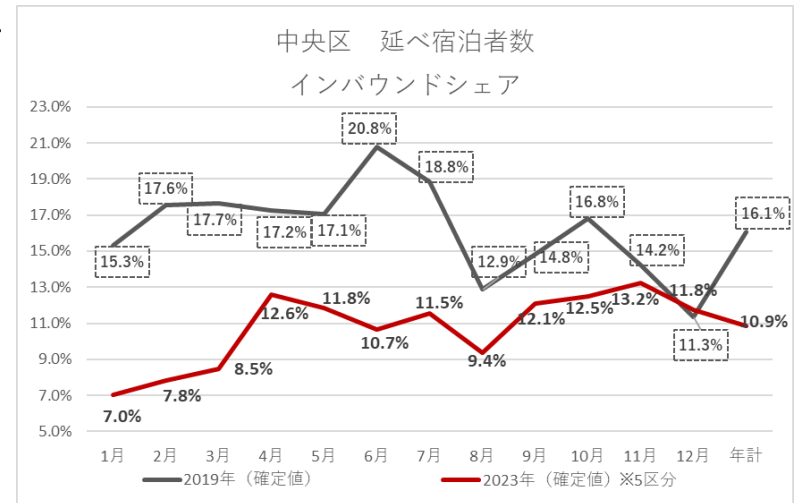


(参考) 中央区 外国人延べ宿泊者数
国籍別シェア (2019年)



< インバウンド比率 >

中央区はコロナ前から
台湾・中国が多い

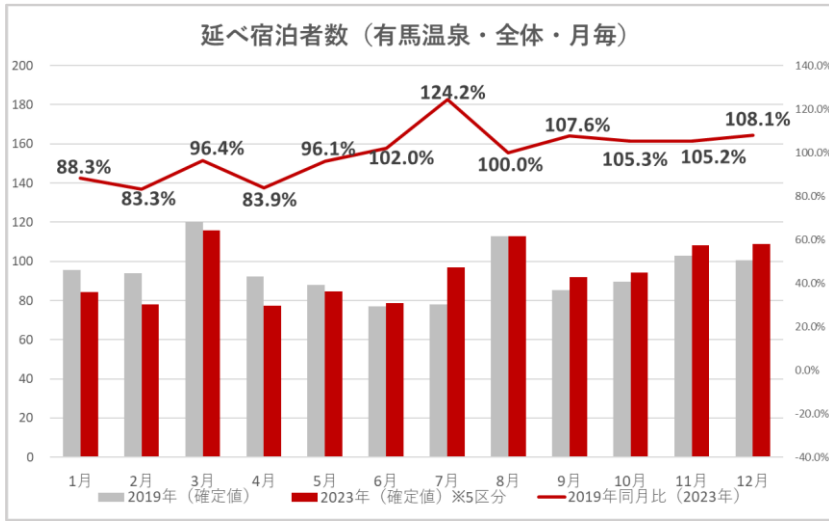


出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」
令和1年・令和5年1月～12月 毎月確定値調査票個別データより分析

2023年年間 神戸市延べ宿泊者数 エリア別分析（確定値）

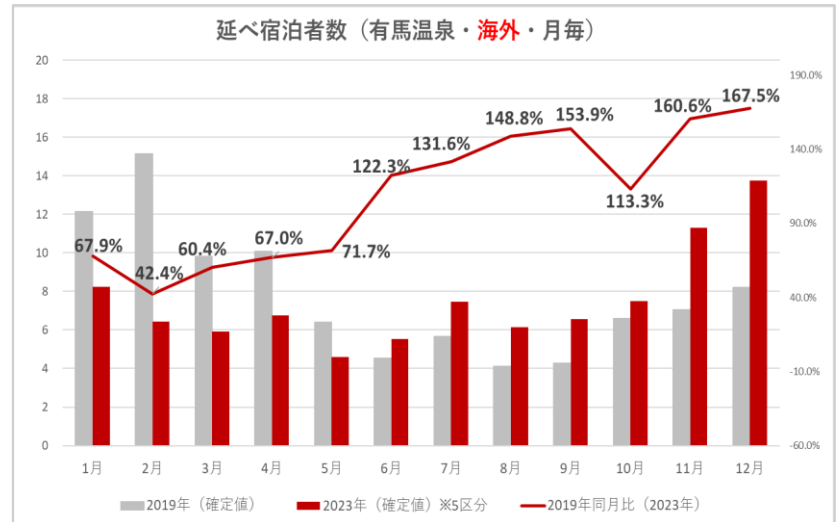
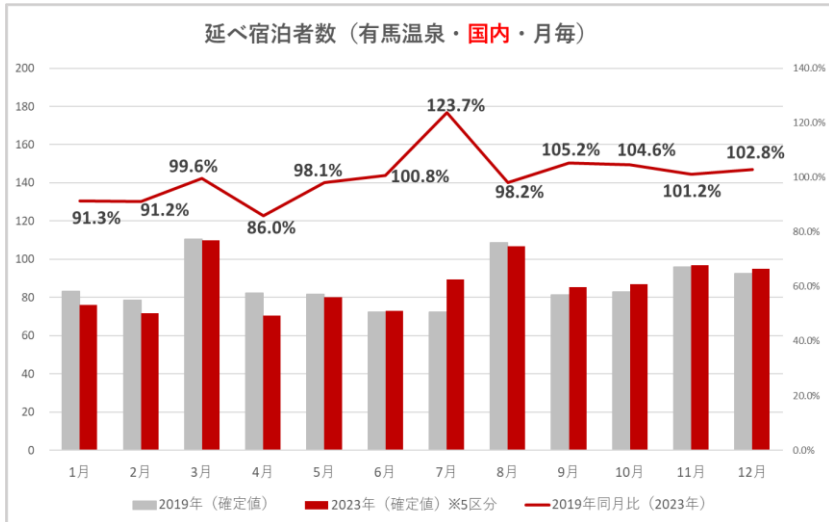


2023年年間 有馬温泉（神戸市北区有馬町）（市全体の15%~20%の宿泊者数が集中）



全体	2019年比：99.6%
うち国内	2019年比：100.0%
うち外国人	2019年比：95.9%

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」
令和1年・令和5年1月～12月 各月確定値調査票個別データより分析



（国内）年間平均泊数：1.12泊

（外国人）年間平均泊数：1.16泊

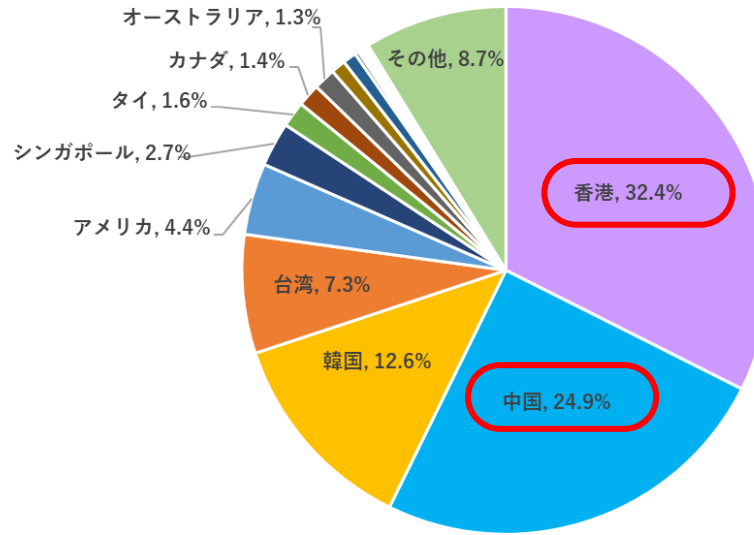
2023年年間 神戸市延べ宿泊者数 エリア別分析（確定値）

2023年年間 有馬温泉（神戸市北区有馬町）（市全体の15%~20%の宿泊者数が集中）

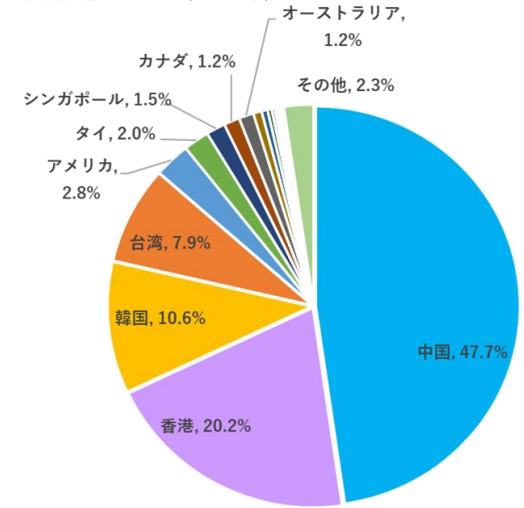
< 国籍別分析 >

順位	国	年計
1	香港	32.4%
2	中国	24.9%
3	韓国	12.6%
4	台湾	7.3%
5	アメリカ	4.4%
6	シンガポール	2.7%
7	タイ	1.6%
8	カナダ	1.4%
9	オーストラリア	1.3%
10	マレーシア	0.9%
11	イギリス	0.8%
12	フランス	0.2%
13	ドイツ	0.2%
14	フィリピン	0.2%
15	ロシア	0.1%
16	インドネシア	0.1%
16	イタリア	0.1%
18	スペイン	0.0%
19	インド	0.0%
19	ベトナム	0.0%
21	その他	8.7%

有馬 外国人延べ宿泊者数
国籍別シェア（2023年）確定値

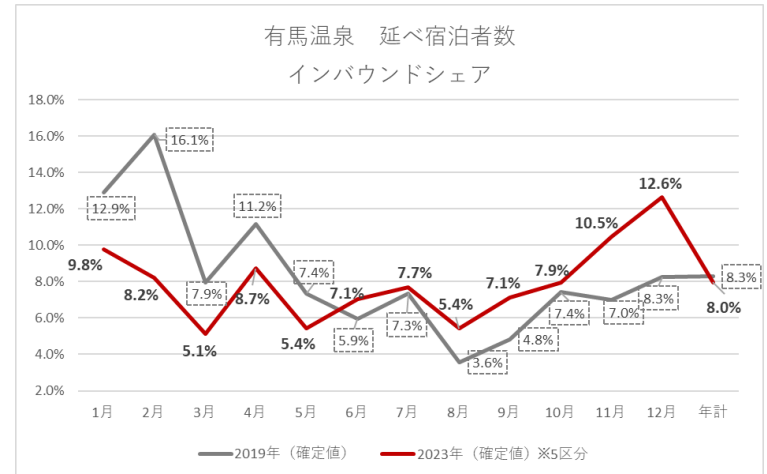


(参考) 有馬 外国人延べ宿泊者数
国籍別シェア（2019年）



< インバウンド比率 >

有馬温泉はコロナ前から
香港・中国が多い



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」
令和1年・令和5年1月～12月

毎月確定値調査票個別データより分析

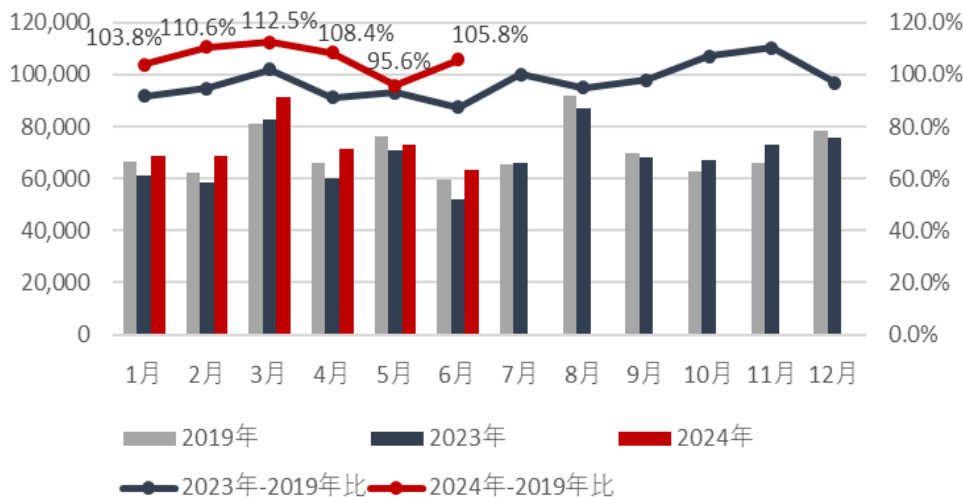
今月のトピックス②

<市内宿泊の動向>

国内OTAデータ 2024年上半期報告

- 2024年上半期では、神戸の国内観光におけるOTA実績について、**取扱額（=人泊数×客単価）は堅調に推移**。
- 全エリア・クラスにおいて、**物価高騰等やインバウンド需要の高まりで客単価が上昇**。
- **人泊数**についてもコロナ前を超える水準となり、1～6月合計は、2019年比106.1%の回復となった。
- 一方、5月のGWは観光需要の高まりを見越した宿泊単価の上昇が一層進んだ結果、国内旅行者がこの価格についてこれなかったのか、5月だけ人泊数はコロナ前を下回る結果となった。

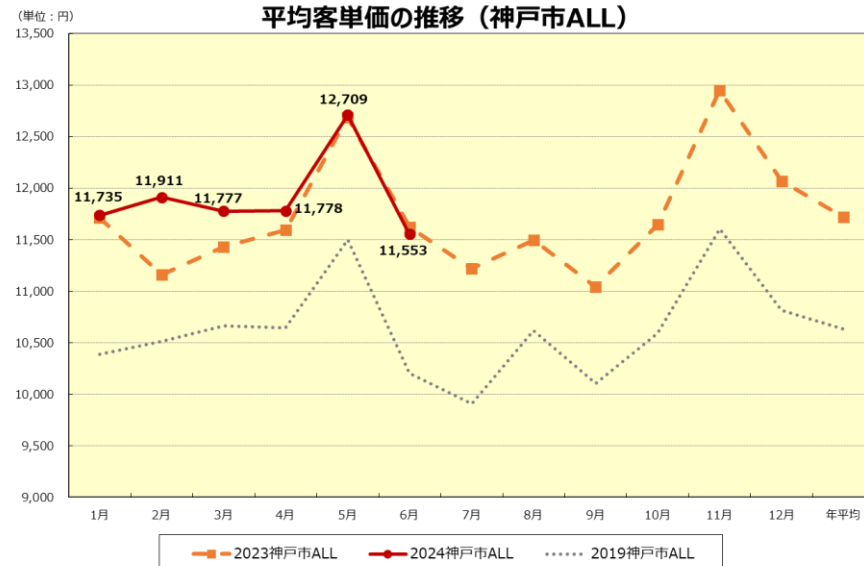
神戸市全域 人泊数



人泊数

2024年上半期 2019年比：106.1%

平均客単価の推移（神戸市ALL）



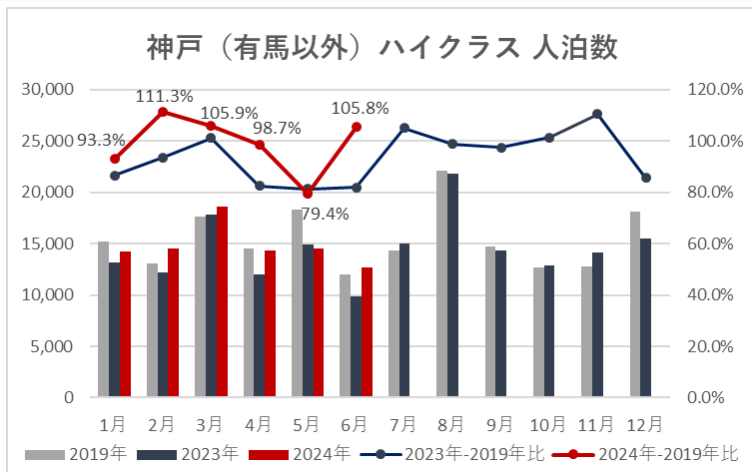
年間平均客単価

2024年上半期 年平均 2019年比：112.1%

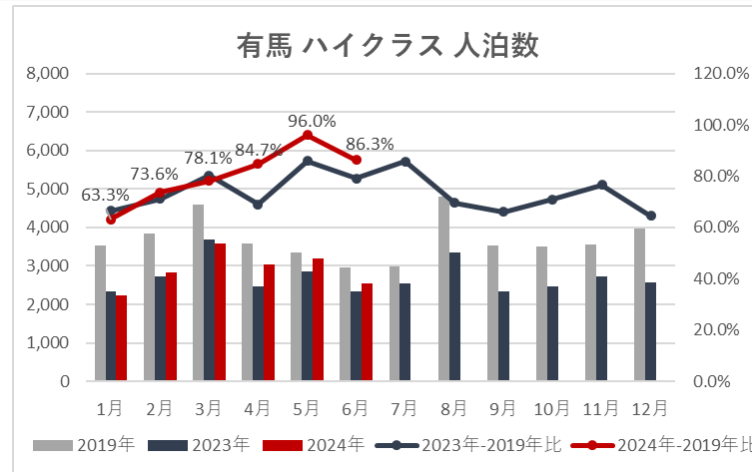
※OTAとは、「Online Travel Agent」の略称。オンライン上のみで旅行商品等を販売する旅行会社のこと。代表的な国内OTAは、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、JTBるぶトラベル等。上記で掲載しているデータは、某国内大手OTA経由の状況を掲載。神戸市内の宿泊施設 約150施設への月別データ（チェックアウトベース）となっている。よって、国内旅行者の全ての販路を集計しているわけではないが、特に平日のビジネス需要も含めた個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

■ 人泊数はスタンダードホテルが好調。宿泊単価の上昇が影響か。

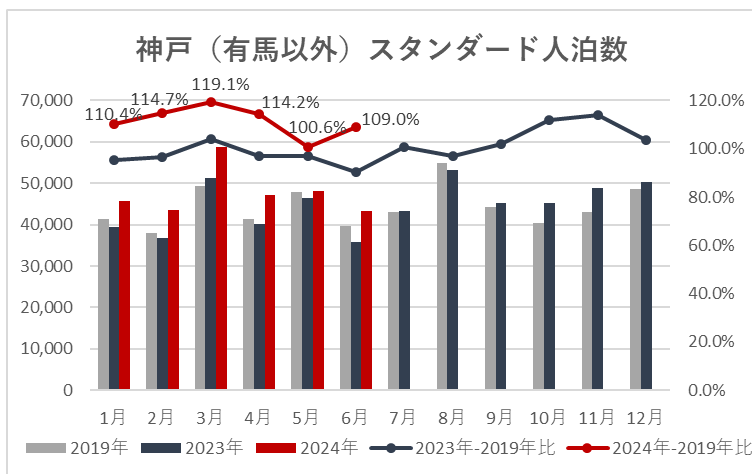
人泊数については、順調に回復しているのは、いずれも「スタンダード」。「ハイクラス」はコロナ前を下回った。インバウンド需要の高まりにより客単価が上昇しているものの、この価格変動に日本人がついてこれていないのか、国内OTAはこれまでより価格が低いホテルを中心に回復しているものとみられる。



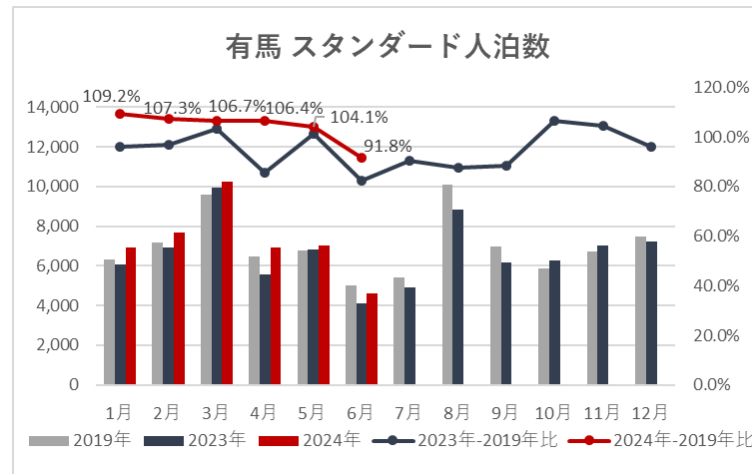
2024年上半期 2019年比：98.0%



2024年上半期 2019年比：79.8%



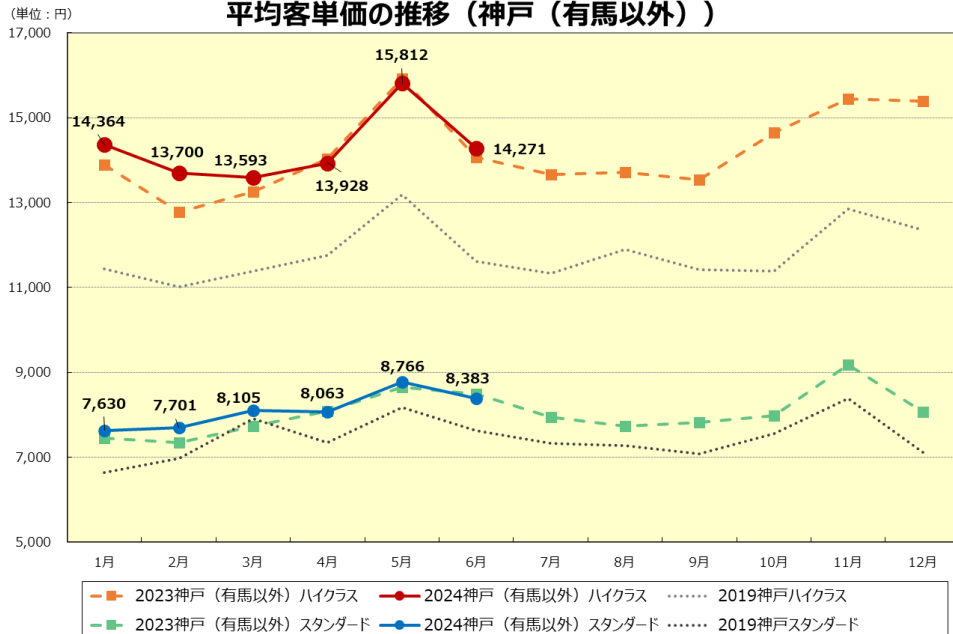
2024年上半期 2019年比：111.3%



2024年上半期 2019年比：104.9%

■ 高単価な状況が続いている（有馬以外）

平均客単価の推移（神戸（有馬以外））



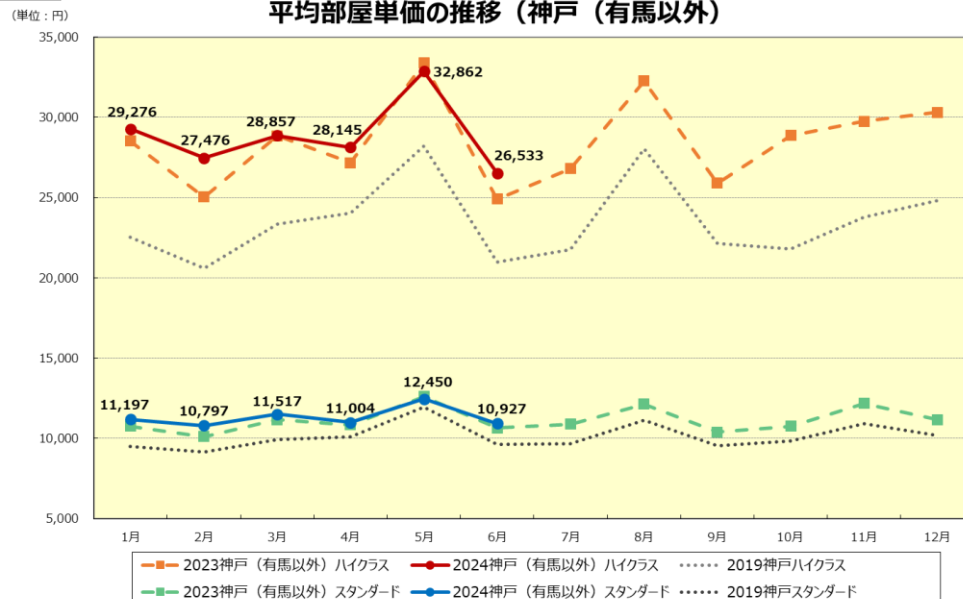
平均客単価の推移

- 物価高騰、人手不足などの影響もあり、平均単価の高止まりが続く。
- 2019年上半期との比較では、上半期平均で見ると神戸ハイクラスで2019年比約122%、スタンダードで2019年比約109%となった。
- また、前年上半期との比較でも、神戸ハイクラス・スタンダードともに前年比約102%となっている。
- 1月～2月は本OTAが冬の宿泊需要の促進キャンペーンを実施したことにより、さらに単価を伸ばすことができた。

平均部屋単価の推移

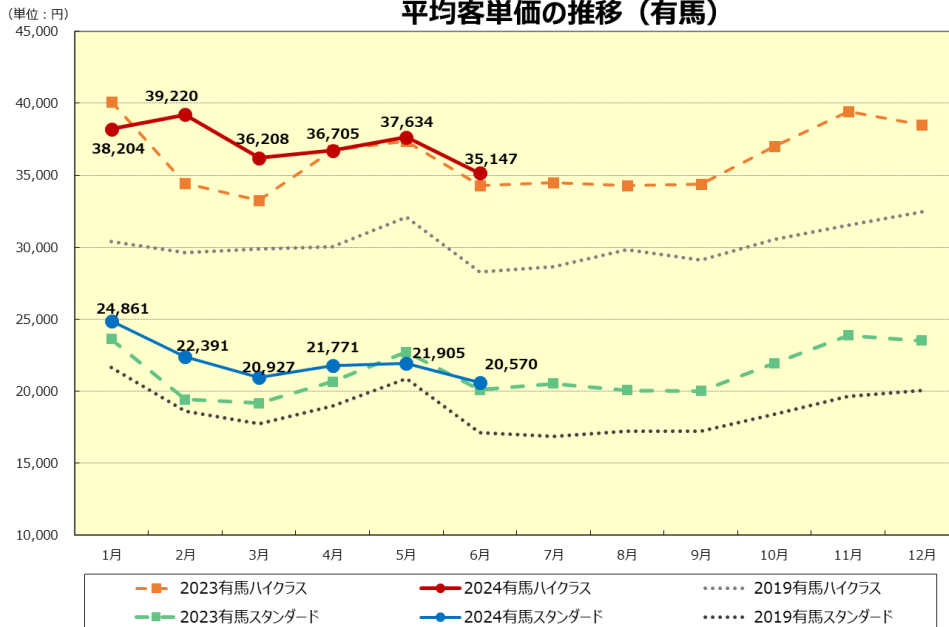
- ゴールデンウィーク（5月）にグループサイズが大きくなる影響もあり、部屋単価が上昇傾向。
- 客単価も同様だが、スタンダードよりもハイクラスの方が、2019年と比較して単価の上昇が大きいことが分かる。

平均部屋単価の推移（神戸（有馬以外））



■ 高単価な状況が続いている（有馬）

平均客単価の推移（有馬）



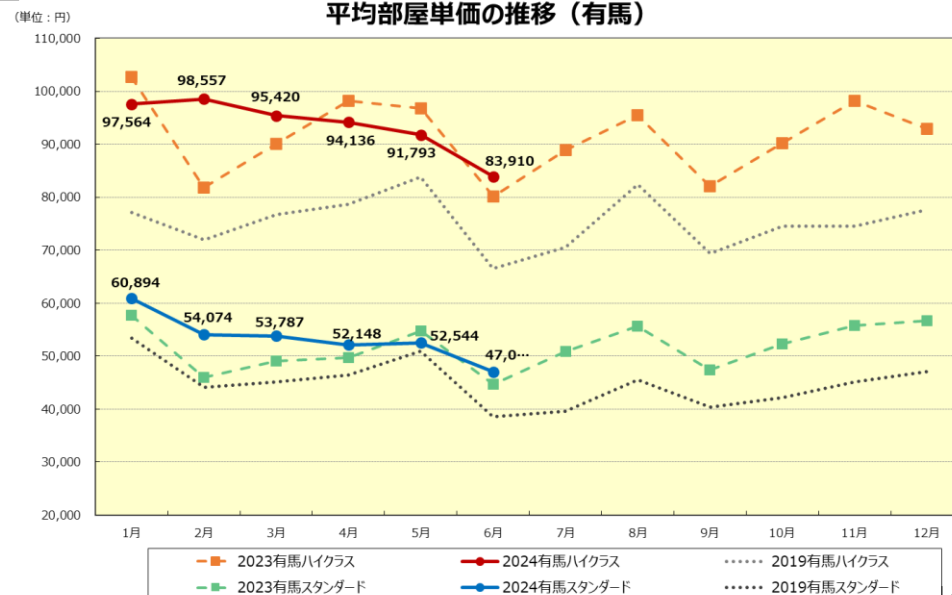
平均客単価の推移

- 物価高騰、人手不足などの影響もあり、平均単価の高止まりが続く。
- インバウンド需要の高まりからか、2月～3月の単価が前年、2019年と比較しても大幅に上昇。
- 2019年との比較では、年間平均で見ると有馬ハイクラスで2019年比約123%、スタンダードで2019年比約115%となった。
- また、前年上半期との比較でも、有馬ハイクラスで前年比約103%、有馬スタンダード約105%となっている。

平均部屋単価の推移

- インバウンド需要の高まりからか、2月～3月の単価が前年、2019年と比較しても大幅に上昇していることが分かる。
- 有馬ハイクラスの部屋単価は、上半期平均でも9.3万円台と高い状態が続いた。

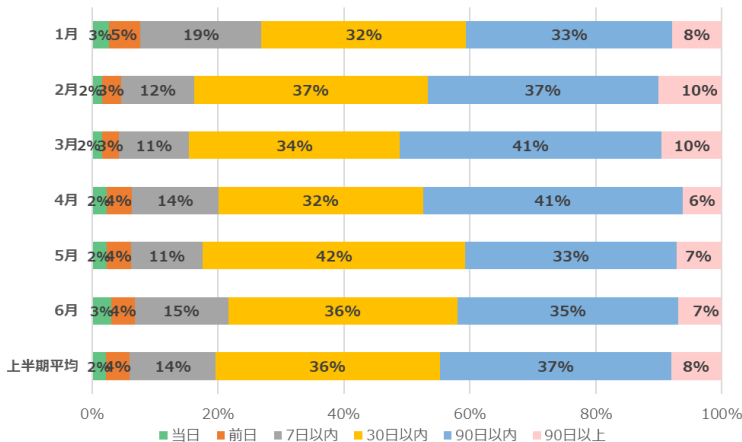
平均部屋単価の推移（有馬）



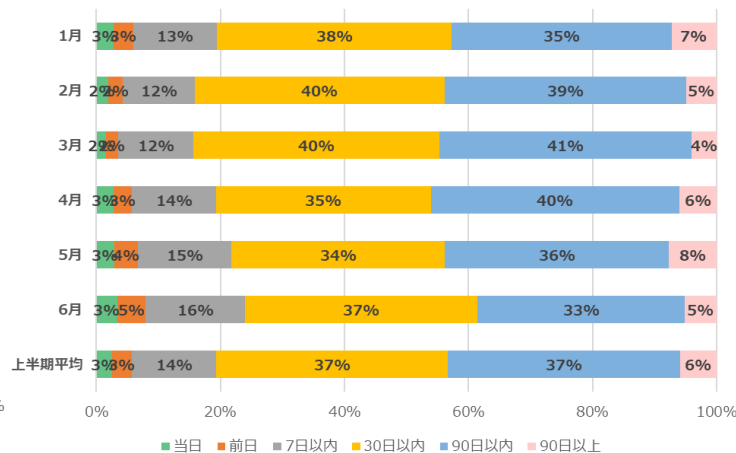
リードタイムは2019年水準まで戻りつつある

【有馬エリア】

2024年 予約から宿泊までの日数 有馬 ハイクラス



2024年 予約から宿泊までの日数 有馬 スタンダード



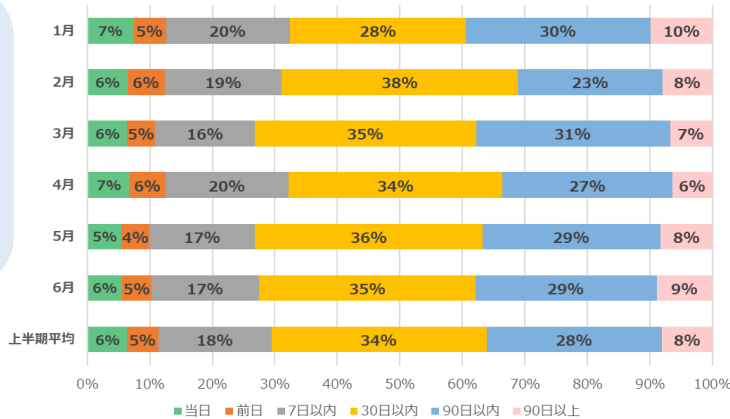
■ 有馬エリアで特にハイクラスにおいては、他エリアと異なり、2月・3月のリードタイムが最も長くなっている。

■ 全体的に2023年から延伸傾向であったリードタイムは、一定安定してきており、2019年とほぼ同水準まで戻っている。

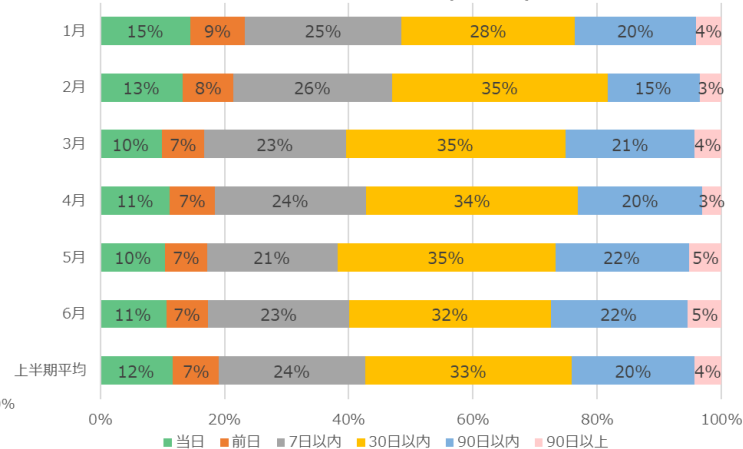
【神戸（有馬以外）エリア】

- 有馬以外のエリアでもハイクラスではリードタイムが2019年水準まで戻ってきている。
- 一方、スタンダードでは、いまだ当日・前日の比率も高い。

2024年 予約から宿泊までの日数 神戸（有馬以外）ハイクラス



2024年 予約から宿泊までの日数 神戸（有馬以外）スタンダード

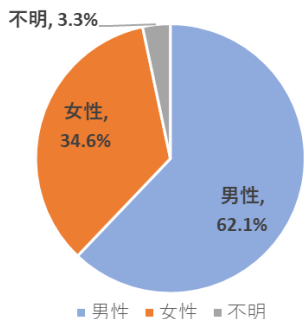


【神戸（有馬以外）エリア】

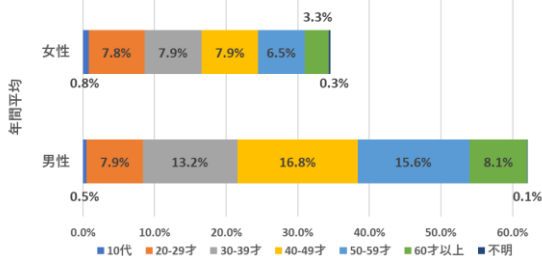
- 有馬以外の神戸市内においては、国内OTAが得意とする平日のビジネス客の傾向が強く出た形となった。
- 特にスタンダードにおいては、予約者の6割が男性、40～50歳代の年代が最も多かった。またスタンダードではグループサイズも1人が最も多くなった。
- 一方ハイクラスでは、男女比がほぼ半数ずつとなり、年代もスタンダードと比較すると均等になる。
グループサイズは2名、居住地は兵庫県内・大阪府が最も多くなった。

性別・年代

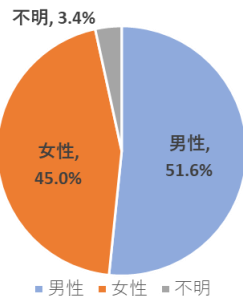
性別 年間平均(神戸スタンダード)



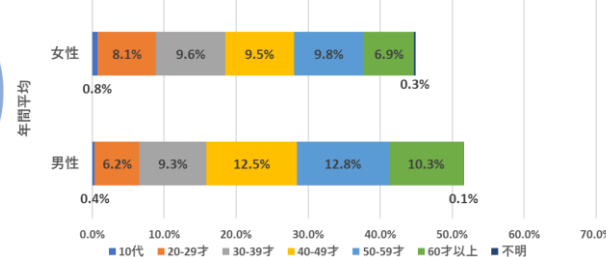
2024年 性別ごと年代 (神戸スタンダード)



性別 年間平均(神戸ハイクラス)



2024年 性別ごと年代 (神戸ハイクラス)



グループサイズ

【神戸スタンダード】

グループサイズ	1人	2人	グループ (3人以上)	ファミリー	女性のみのグループ
1-3月	59.1%	28.9%	5.9%	6.1%	20.3%
4-6月	62.7%	27.2%	4.8%	5.3%	21.3%
上半期平均	60.9%	28.0%	5.3%	5.7%	20.8%

【神戸ハイクラス】

グループサイズ	1人	2人	グループ (3人以上)	ファミリー	女性のみのグループ
1-3月	24.3%	47.3%	12.9%	15.6%	18.3%
4-6月	26.4%	48.1%	11.0%	14.5%	18.7%
上半期平均	25.3%	47.7%	11.9%	15.0%	18.5%

予約者居住地

【神戸スタンダード】

順位	1-3月平均		4-6月平均	
	居住地	比率	居住地	比率
1位	兵庫県	14.7%	東京都	14.7%
2位	東京都	13.6%	兵庫県	13.0%
3位	大阪府	7.8%	大阪府	7.4%
4位	神奈川県	6.9%	神奈川県	7.0%
5位	愛知県	5.9%	愛知県	5.8%
6位	千葉県	3.7%	千葉県	4.0%
7位	埼玉県	3.4%	その他+不明	3.6%
8位	広島県	3.2%	埼玉県	3.6%
9位	その他+不明	3.1%	広島県	3.2%
10位	福岡県	2.9%	福岡県	3.0%
10位まで合計		65.1%		65.3%

【神戸ハイクラス】

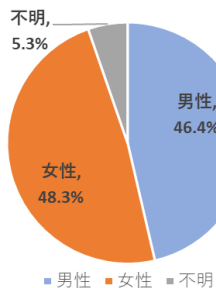
順位	1-3月平均		4-6月平均	
	居住地	比率	居住地	比率
1位	兵庫県	15.8%	兵庫県	14.4%
2位	大阪府	11.5%	大阪府	11.4%
3位	東京都	9.7%	東京都	10.3%
4位	愛知県	7.0%	愛知県	6.8%
5位	その他+不明	4.9%	神奈川県	4.6%
6位	神奈川県	4.3%	岡山県	3.7%
7位	京都府	3.9%	京都府	3.6%
8位	岡山県	3.5%	その他+不明	3.6%
9位	広島県	3.0%	広島県	3.4%
10位	埼玉県	2.4%	福岡県	2.4%
10位まで合計		65.9%		64.2%

【有馬エリア】

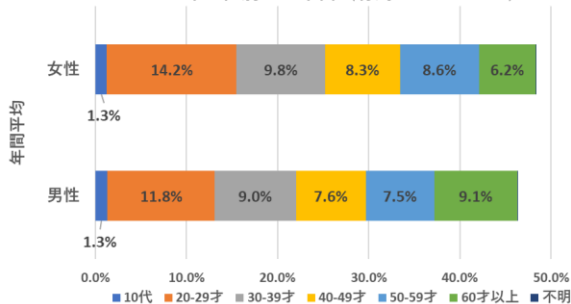
- 有馬エリアにおいては、神戸（有馬以外）エリアと異なり、クラス関係なく男女比はほぼ半数ずつであり、大阪府からの予約者が最も多くなった。
- クラスごとに見ていくと、スタンダードにおいては、男女ともにより若年層の割合が高くなり、ハイクラスに比べてファミリーや女性のみグループの割合が高くなった。
- 一方ハイクラスでは、30代以上の割合が均等に分布しており、かつ2人程度の少人数で予約が多く入る傾向が見られた。

■ 性別・年代

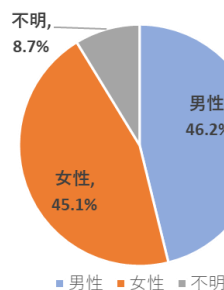
性別 年間平均(有馬スタンダード)



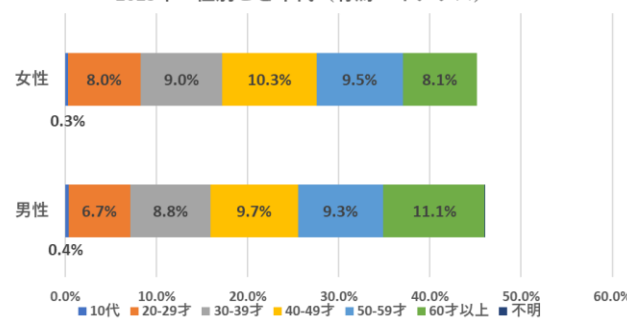
2024年 性別ごと年代 (有馬スタンダード)



性別 年間平均(有馬ハイクラス)



2023年 性別ごと年代 (有馬ハイクラス)



■ グループサイズ

【有馬スタンダード】

グループサイズ	1人	2人	グループ (3人以上)	ファミリー	女性のみグループ
1-3月平均	7.2%	56.9%	22.6%	13.3%	19.6%
4-6月平均	11.1%	56.3%	18.4%	14.2%	17.9%
上半期平均	9.1%	56.6%	20.5%	13.8%	18.8%

【有馬ハイクラス】

グループサイズ	1人	2人	グループ (3人以上)	ファミリー	女性のみグループ
1-3月	3.4%	57.8%	25.1%	13.8%	14.3%
4-6月	4.0%	59.5%	25.5%	11.0%	14.3%
上半期平均	3.7%	58.6%	25.3%	12.4%	14.3%

■ 予約者居住地

【有馬スタンダード】

順位	1-3月平均		4-6月平均	
	居住地	比率	居住地	比率
1位	大阪府	20.8%	大阪府	18.6%
2位	兵庫県	11.7%	兵庫県	12.5%
3位	愛知県	8.9%	愛知県	8.4%
4位	東京都	6.3%	東京都	6.6%
5位	その他+不明	6.0%	その他+不明	6.1%
6位	京都府	5.8%	京都府	4.6%
7位	滋賀県	3.6%	神奈川県	3.5%
8位	神奈川県	3.2%	広島県	3.0%
9位	広島県	3.1%	岡山県	2.7%
10位	岡山県	3.0%	滋賀県	2.5%
10位まで合計		72.3%		68.5%

【有馬ハイクラス】

順位	1-3月平均		4-6月平均	
	居住地	比率	居住地	比率
1位	大阪府	22.2%	大阪府	21.2%
2位	兵庫県	13.1%	兵庫県	13.8%
3位	その他+不明	10.3%	その他+不明	11.7%
4位	東京都	7.4%	東京都	7.0%
5位	愛知県	7.1%	愛知県	6.8%
6位	京都府	4.8%	京都府	4.8%
7位	神奈川県	2.9%	神奈川県	3.3%
8位	滋賀県	2.9%	広島県	2.4%
9位	岡山県	2.8%	岡山県	2.1%
10位	広島県	2.6%	奈良県	2.1%
10位まで合計		76.1%		75.1%

今月のトピックス③

神戸観光局SNS情報



昨年(2022年)の9月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

観光スポット編

9月
自然も芸術も
満喫スポット!

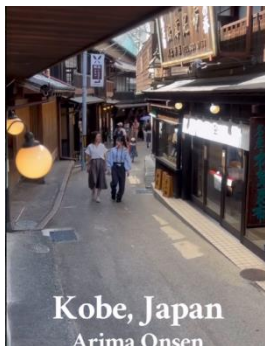
↑ いいね数 順位

BEST 1



2023/9/20

BEST 2



2023/9/6

BEST 3



2023/9/15

BEST 4



2023/9/8

BEST 5



2023/9/13

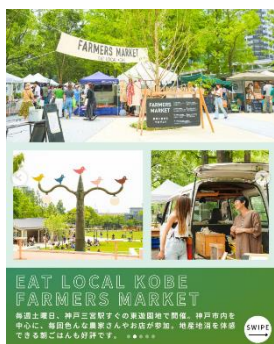
2023年9月

2023年9月はBEST1~3までを動画投稿が占める。前月もBEST1・2が動画。観光スポットは動画コンテンツによる投稿が不可欠。
1位⇒「須磨浦山上遊園」の動画の投稿が**1位**。レトロな雰囲気と回転展望閣屋上からの絶景が同時に楽しめる。コメントも「懐かしい」「子供のころを思い出す」「屋上からの絶景をまた見たい」などの懐かしさを思い起こす内容が多かった。
2位⇒「めぐる神戸 有馬温泉編」。温泉だけでなく、食べ歩きや寺社巡りなど違った魅力を紹介。訪問経験のある方からの投稿（また行きたい）多し。
3位⇒「六甲・有馬ロープウェイ」。六甲山から空中散歩。六甲山のダイナミックな自然を体感できるような動画。
4位⇒「ミュージアムロード」（灘区）。アートに触れる街並みを紹介。路上のアートや美術館などの施設もPR。
5位⇒「神戸の山に出かけよう」。摩耶山・再度公園などを紹介。新神戸駅にある気軽に立ち寄れる登山支援拠点「トレイルステーション神戸」も紹介。

その他の投稿



JAZZのイベントやお店紹介



EAT LOCAL KOBE

～紅茶専門店3選～観光の合間にホッと一息



Tea room mahisa

三宮



Lakshimi神戸本店

トアロード



Tea House MUSICA

元町

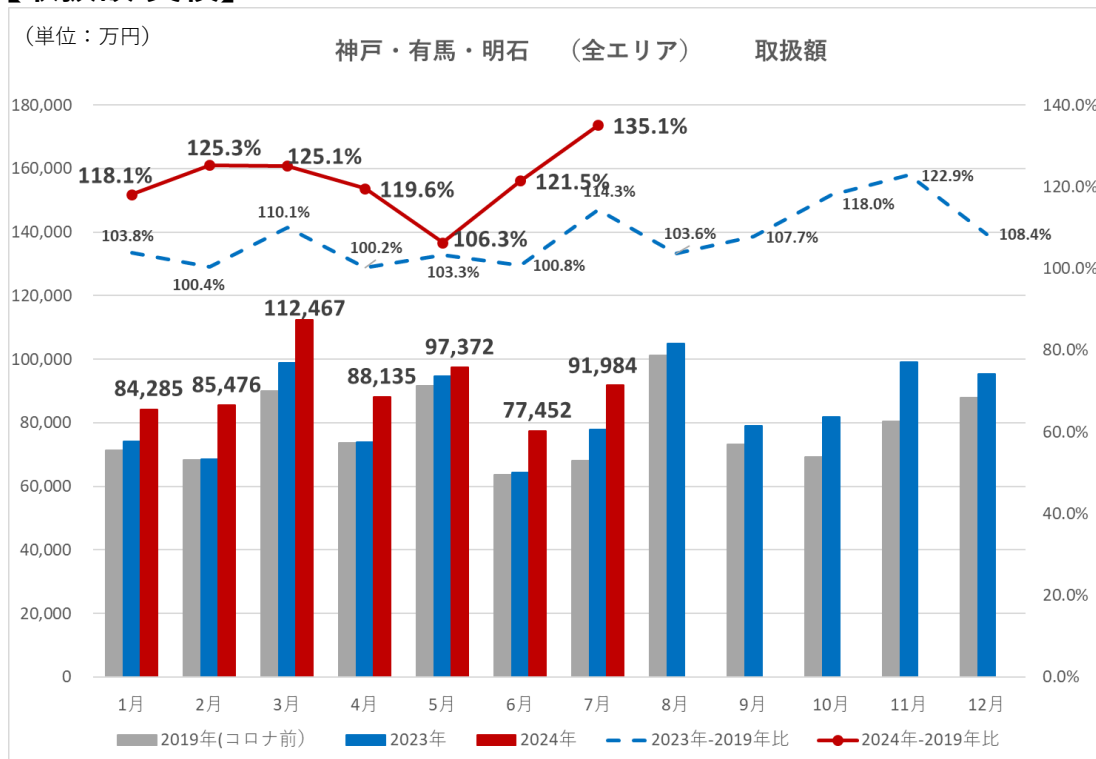
市内宿泊の動向

(国内OTAデータ モニタリング速報)

7月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比 135.1%、人泊数：116.4%、単価：116.1%。

- エリア別にみると有馬では、2019年比で客単価が高い状態が続く。なお、本国内OTA上では、**有馬の客室平均単価は、11月には箱根を超えて温泉エリアで日本一。**その影響もあり、単価の上昇から国内旅行者よりもインバウンドに選ばれやすくなってきている傾向がみられる。下記には記載していないが、**本OTA上は、7月は国内旅行のグループサイズが大きくなり、中単価施設への予約が増えたことから、前年比では客単価は96.6%となっている。**
- 市街地はGWに苦戦していた分、6月・7月は好調。人泊数・単価ともにコロナ前を上回った。
- じゃらんのデータということもあり、全市データは、市街地のいわゆるビジネス利用者の影響が出やすい。

【取扱額 実績】



【エリア別・2019年同月比】

	5月	6月	7月
全市			
取扱額	106.3% (103.3%)	121.5% (100.8%)	135.1% (114.3%)
人泊数	96.5% (94.5%)	107.2% (89.6%)	116.4% (102.0%)
単価	110.1% (109.3%)	113.3% (112.5%)	116.1% (112.1%)
市街地			
取扱額	105.5% (102.4%)	121.5% (100.8%)	134.3% (115.2%)
人泊数	98.0% (97.8%)	108.0% (92.4%)	116.6% (105.6%)
単価	107.6% (104.8%)	112.4% (109.0%)	115.2% (109.1%)
有馬			
取扱額	111.2% (106.2%)	109.5% (96.9%)	120.8% (107.5%)
人泊数	101.4% (96.1%)	89.8% (81.2%)	103.3% (88.9%)
単価	109.6% (110.5%)	122.0% (119.3%)	116.9% (121.0%)

黒太字は2024年-2019年比

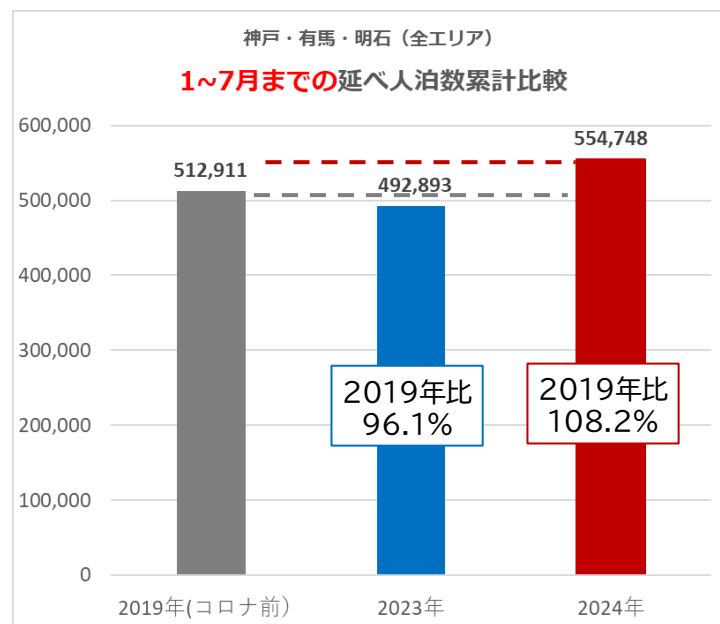
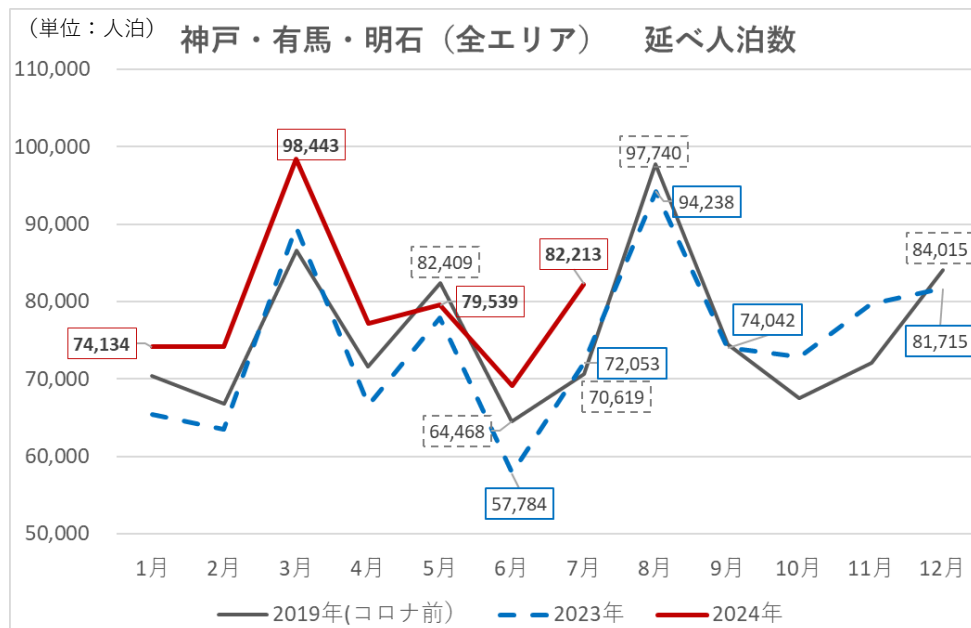
()内は同時点の前年(2023年)-2019年比

【OTAデータの特徴】

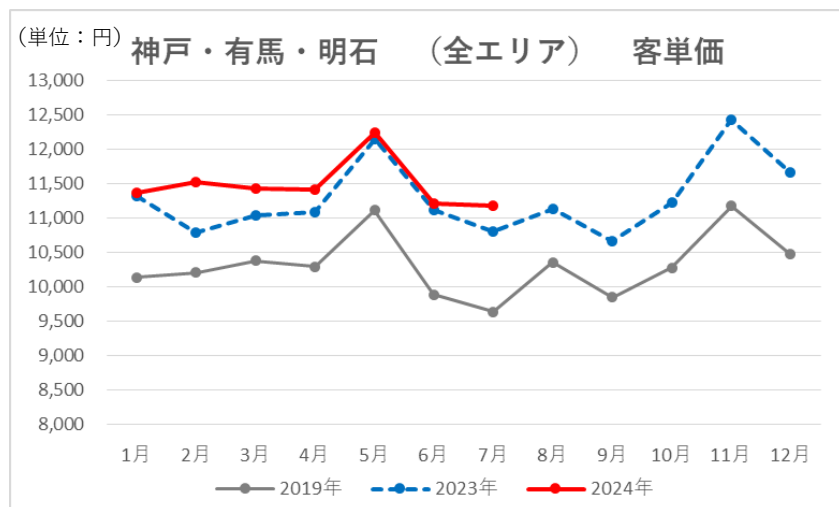
OTAとは、「Online Travel Agent」の略称。オンライン上のみで旅行商品等を販売する旅行会社のこと。代表的な国内OTAは、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、JTBるぶトラベル等。近年は、国内でも、国内OTAに加え、海外OTA (booking.com、Expedia、agoda、Trip.com等) を利用する旅行者も増えている。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用(予約)が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアの国内OTAの利用者数は1368万人(対前年比177%)と成長している。一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店(リアルエージェント)からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直接予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、某国内大手OTA経由の状況を掲載。神戸市内の宿泊施設 約150施設への月別データ(チェックアウトベース)となっている。よって、国内旅行者の全ての販路を集計しているわけではないが、特に平日のビジネス需要も含めた個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

【延べ人泊数 実績】



【平均客単価 実績】



【2023年】

- ・通年で平均客単価の高止まりが続いていた状態。
- ・人泊数は2019年の季節変動値に近い数値で推移。10月以降は2019年を上回る勢いを見せた。

【2024年】

- ・5月はGWに苦戦したという声があったものの、6月は人泊数・単価ともに2019年を上回った。
- ・今年のGWの傾向から、全国的な訪日需要の高まりから宿泊単価が上がっており、国内旅行者の動きが、単価が高く、かつ人出の多くなる時期を避けた旅行へシフトしつつあることも考えられる。
- ・7月は人数・単価ともに2019年を上回り、好調に推移。

【予約情報：① 予約スピード】

【神戸市】〔取扱額〕

神戸 有馬 明石		8月	9月	10月	11月	12月	1月
予約 スピード	2019年度比 (8.18時点)	134.5%	156.2%	182.7%	168.2%	211.6%	199.5%
	2023年度比 (8.18時点)	120.6%	129.5%	145.3%	143.1%	172.6%	134.5%
	【前回】2019年比 (7.21時点)	153.8%	170.5%	193.9%	164.8%	183.5%	—

有馬		8月	9月	10月	11月	12月	1月
予約 スピード	2019年度比 (8.18時点)	109.0%	131.2%	160.9%	179.6%	210.1%	185.0%
	2023年度比 (8.18時点)	117.6%	130.7%	131.8%	136.6%	152.2%	117.8%
	【前回】2019年比 (7.21時点)	124.2%	149.5%	184.5%	196.2%	209.9%	—

三ノ宮・ポートアイランド +元町・メリケンパーク		8月	9月	10月	11月	12月	1月
予約 スピード	2019年度比 (8.18時点)	142.4%	149.1%	173.6%	148.0%	192.8%	226.7%
	2023年度比 (8.18時点)	120.3%	119.6%	148.3%	143.3%	166.0%	152.5%
	【前回】2019年比 (7.21時点)	161.2%	159.8%	183.3%	145.4%	134.9%	—

【参考：他エリア比較】〔取扱額〕

淡路島		8月	9月	10月	11月	12月	1月
予約 スピード	2019年度比 (8.18時点)	138.2%	168.1%	212.1%	234.0%	215.0%	209.8%
	2023年度比 (8.18時点)	108.7%	112.9%	103.1%	120.2%	124.0%	124.4%
	【前回】2019年比 (7.21時点)	156.4%	223.6%	251.0%	265.8%	248.4%	—

城崎		8月	9月	10月	11月	12月	1月
予約 スピード	2019年度比 (8.18時点)	103.0%	125.9%	150.9%	224.1%	215.6%	223.6%
	2023年度比 (8.18時点)	112.2%	119.4%	103.6%	125.0%	110.7%	149.3%
	【前回】2019年比 (7.21時点)	111.1%	141.7%	188.1%	267.7%	290.9%	—

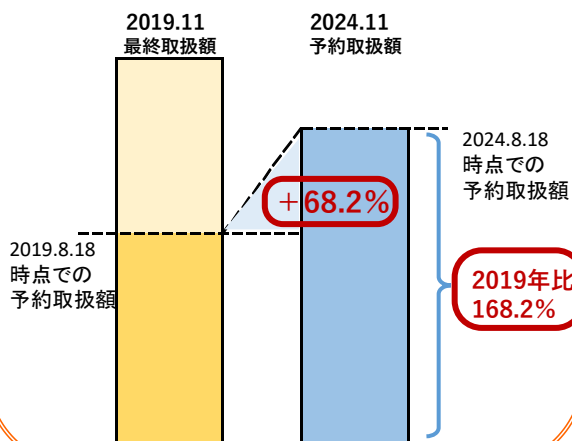
大阪市エリア		8月	9月	10月	11月	12月	1月
予約 スピード	2019年度比 (8.18時点)	133.2%	181.2%	228.3%	209.6%	256.9%	174.2%
	2023年度比 (8.18時点)	97.2%	115.2%	127.9%	135.6%	179.0%	171.0%
	【前回】2019年比 (7.21時点)	146.4%	199.3%	245.4%	233.1%	249.0%	—

京都市エリア		8月	9月	10月	11月	12月	1月
予約 スピード	2019年度比 (8.18時点)	127.6%	135.3%	181.3%	178.4%	227.6%	154.3%
	2023年度比 (8.18時点)	107.1%	115.2%	141.1%	121.7%	168.0%	148.1%
	【前回】2019年比 (7.21時点)	136.5%	145.5%	194.6%	179.8%	242.5%	—

東京23区エリア		8月	9月	10月	11月	12月	1月
予約 スピード	2019年度比 (8.18時点)	132.8%	156.1%	194.1%	248.1%	216.9%	204.4%
	2023年度比 (8.18時点)	106.0%	117.2%	112.3%	155.5%	147.2%	137.9%
	【前回】2019年比 (7.21時点)	159.4%	173.8%	206.5%	264.3%	207.9%	—

国内OTA 予約データの見方①

(例) 全市 2024年11月



このページは、国内OTA予約データの、**予約のスピード感を確認するデータ**です。

【予約情報：②過去の最終実績と現在の取扱額の比較】

【神戸市】〔取扱額〕

神戸 有馬 明石		8月	9月	10月	11月	12月	1月
最終実績 との比較	2019年度比 (8.18時点)	119.1%	67.5%	48.0%	34.9%	15.8%	10.5%
	2023年度比 (8.18時点)	115.0%	62.6%	40.7%	28.4%	14.6%	9.4%

有馬		8月	9月	10月	11月	12月	1月
最終実績 との比較	2019年度比 (8.18時点)	105.1%	63.0%	45.4%	29.7%	13.8%	6.3%
	2023年度比 (8.18時点)	113.7%	68.7%	42.3%	26.2%	14.4%	6.8%

三ノ宮・ポートアイランド +元町・メリケンパーク		8月	9月	10月	11月	12月	1月
最終実績 との比較	2019年度比 (8.18時点)	121.9%	63.8%	49.9%	38.4%	17.8%	12.6%
	2023年度比 (8.18時点)	114.2%	58.0%	41.2%	31.2%	16.3%	10.4%

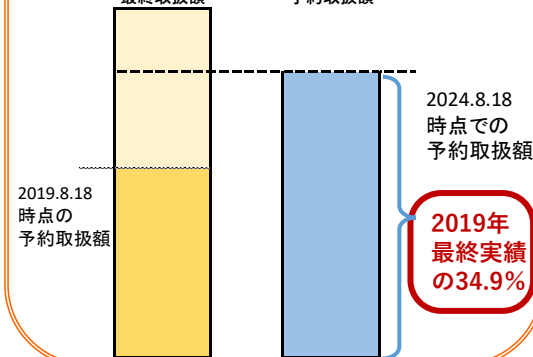
淡路島		8月	9月	10月	11月	12月	1月
最終実績 との比較	2019年度比 (8.18時点)	132.1%	89.6%	63.2%	35.3%	18.9%	15.5%
	2023年度比 (8.18時点)	105.1%	73.6%	40.5%	25.0%	15.3%	12.0%



このページは、国内OTA予約データについて、**現在の取扱額と、2019年や前年の同月最終実績を比較するデータ**です。

国内OTA 予約データの見方②

(例) 全市 2024年11月
2019.11 最終取扱額
2024.11 予約取扱額



10月以降の予約スピードが加速。8月は現時点で2019年8月の最終取扱額超だがエリアによるばらつきも。

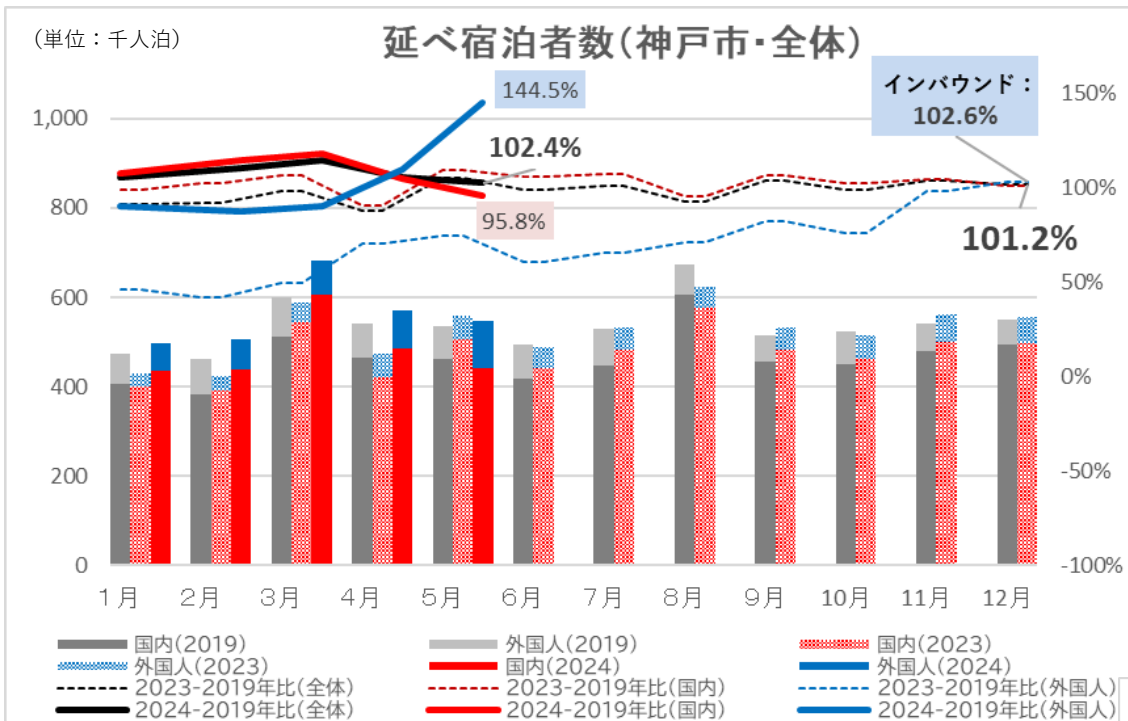
■全市では8月は2019年の119%の実績が見込まれるが、高単価となりインバウンドが増えている有馬温泉では、国内OTAとしては2019年比の105%になるなど、エリア間で少しばらつきが生じている。

■10月以降の予約スピード（前ページ掲載）が加速しており、神戸では10月、12月、1月は2019年度の2倍近くのスปีドに。同様の現象が大阪・京都でも見られているが、連休など単価が高くなる時期から少しずつ予約する動きが見られる。

市内宿泊の動向②

(延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率)

【神戸市・全体】



傾向・分析

5月は全体(国内・インバウンドの合計)でコロナ前の102%。パラ陸上等により、インバウンドがコロナ前の1.4倍を記録。

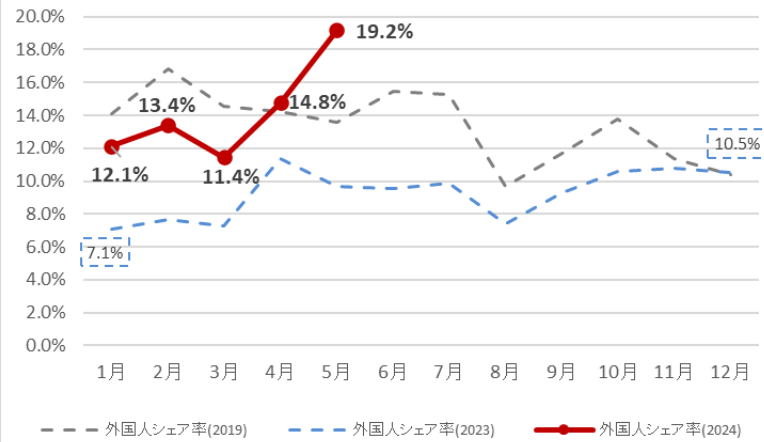
- 神戸市全体延べ宿泊者数は1月以降コロナ前を超えて回復。ただしコロナ前と比較すると客室数が増えているエリアもあり、市内の稼働率を回復させるためにも、更なる誘客を考えていく必要がある。
 - パラ陸上などのイベントにより、5月のインバウンドはコロナ前の1.4倍を記録した。
- ※コロナ前比較：2019.1～2019.12をベースに同月比較

出典：【神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」
 ・令和5年・令和6年1～5月 第2次速報値(次ページ以降出典同)
 ※ 神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

(参考)

兵庫県	コロナ前比	106.9% (5月)
全国	コロナ前比	104.9% (5月)

延べ宿泊者数(全国・外国人シェア率)

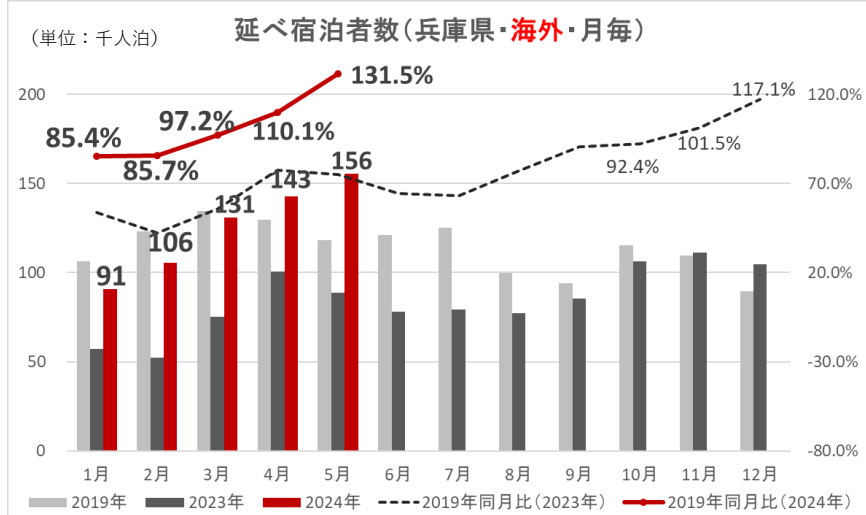


延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド分析①】

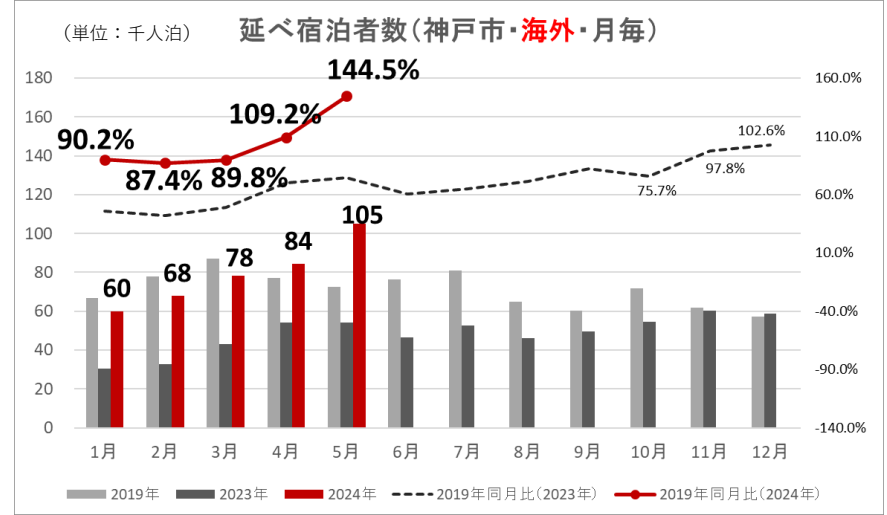
神戸 全国 外国人



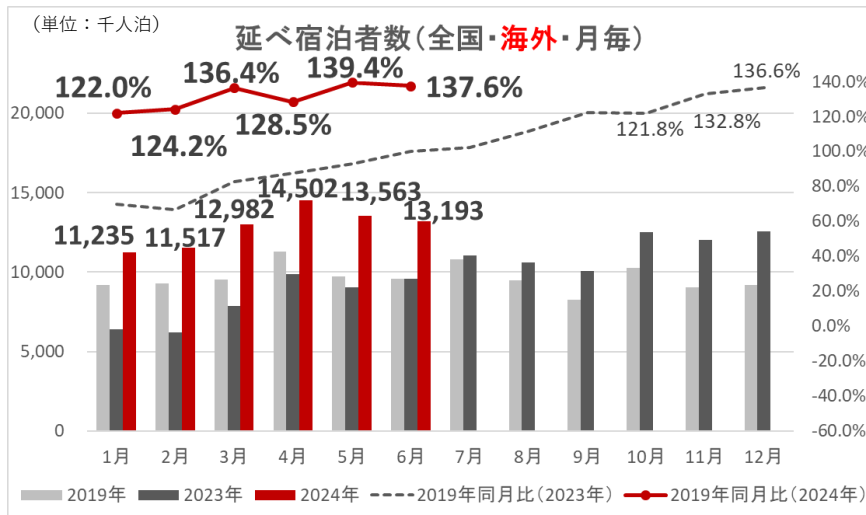
【兵庫県】



【神戸市】



【全国】



5月の傾向・分析

神戸市	コロナ前比	144.5% (5月)
兵庫県	コロナ前比	131.5% (5月)
全国	コロナ前比	137.6% (5月)

※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較



パラ陸上や神戸国際宝飾展などの影響により、神戸は2019年同月の144.5%を記録。

■ 神戸観光局の独自試算では、神戸市の回復率は5月時点で144.5%となった。1~3月は9割前後、4月は109%で推移。

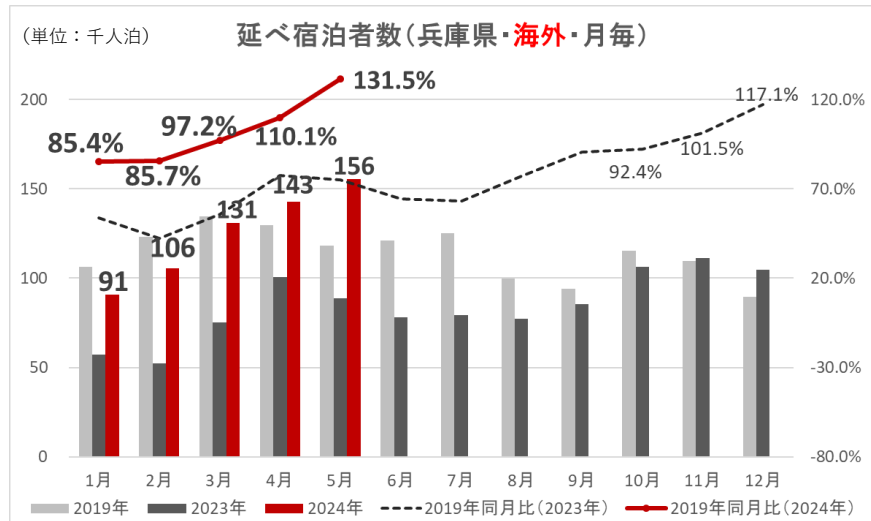
出典：【全国・兵庫県・神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」

・令和6年5月 第2次速報値

・令和6年6月 第1次速報値

※神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

【兵庫県】

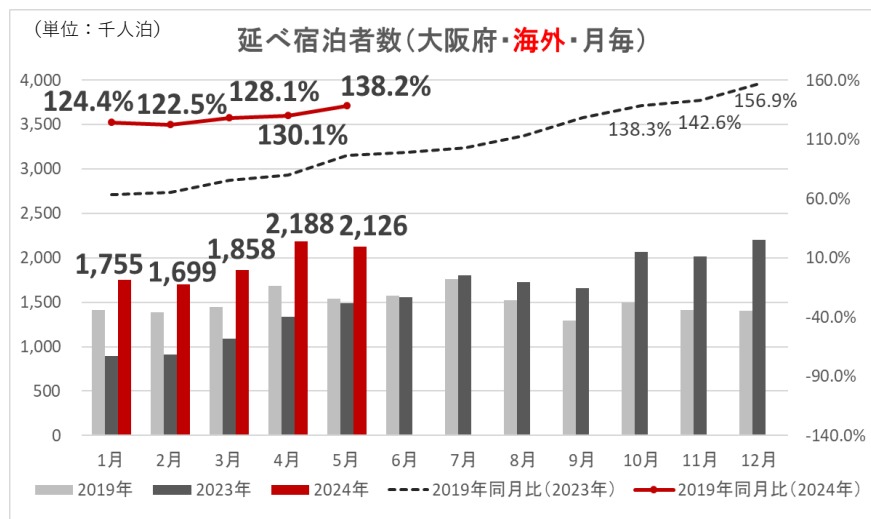


5月の傾向・分析

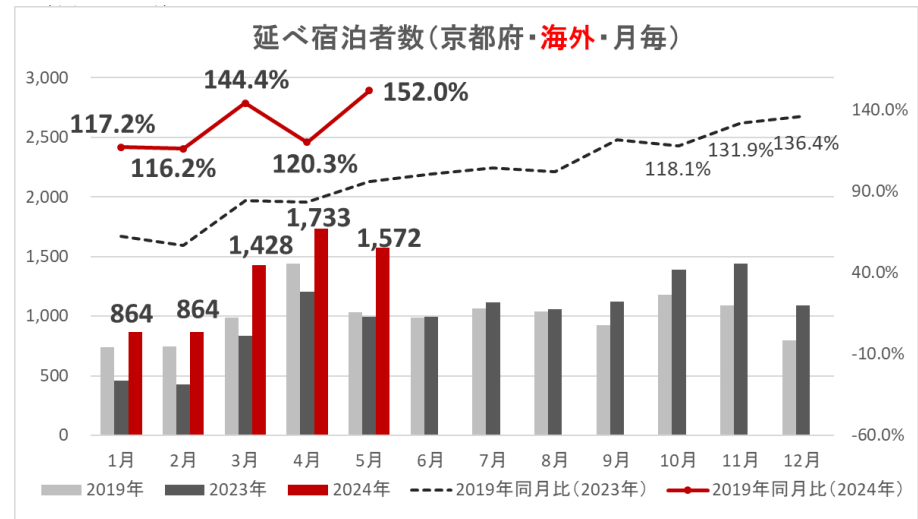
兵庫県	コロナ前比	131.5% (5月)
大阪府	コロナ前比	138.2% (5月)
京都府	コロナ前比	152.0% (5月)

※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

【大阪府】



【京都府】



出典：【兵庫県・大阪府・京都府】観光庁「宿泊旅行統計調査」
・令和6年5月 第2次速報値

[👉 全国・周辺エリアの国籍分析は次ページへ](#)

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕 国籍分析

【全国】

全国	5月	2019年同月比	
		シェア	
第1位	中国	16.4%	78.6%
第2位	韓国	12.8%	142.2%
第3位	台湾	12.0%	122.0%
第4位	米国	11.7%	193.8%
第5位	香港	5.1%	101.3%
第6位	オーストラリア	4.2%	187.1%
第7位	シンガポール	3.2%	192.8%
第8位	タイ	2.6%	100.9%
第9位	英国	2.6%	168.4%
第10位	フランス	2.5%	158.6%

5月の傾向・分析

GWもインバウンドは好調。中国以外の国の多くはコロナ前を超える。

■ 全国:1位 中国、2位 韓国、3位 台湾。

上位5カ国・地域で全体の57.9%を占める。多くの国で2019年を上回る回復率を記録。円安が進む影響で、欧米豪等からの来訪が加速しており、この波は6月も続いている。

■ 兵庫県:第1位:中国、第2位:台湾、第3位:韓国。東アジアが約5割、欧米豪が約2割を占める。

■ 大阪府:第1位:中国、第2位:韓国、第3位:台湾と、ずっと韓国が1位であったが、先月より中国が1位に返り咲いた。

■ 京都府:第1位:中国、第2位:米国、第3位:台湾。桜シーズンが過ぎても米・豪が好調。

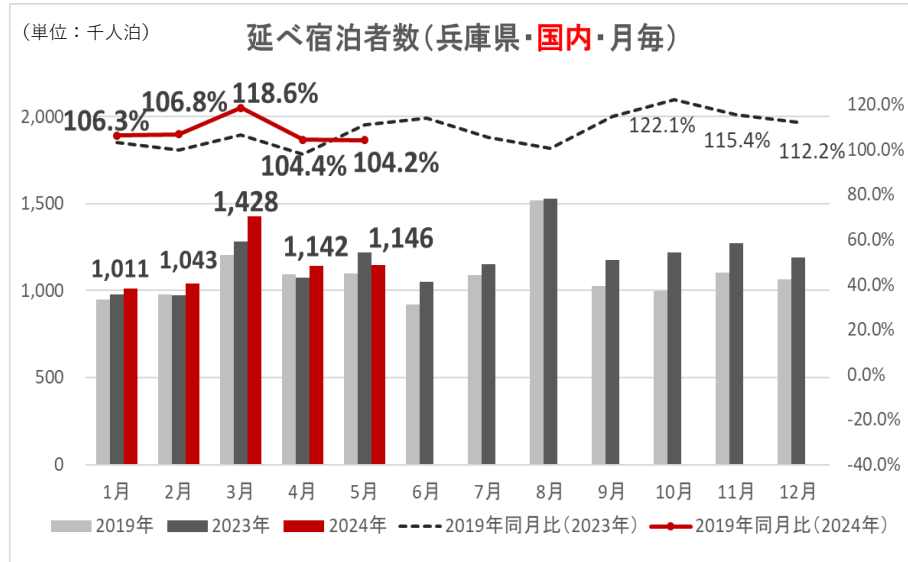
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」・令和6年5月 第2次速報値

兵庫県	5月	2019年同月比	
		シェア	
第1位	中国	21.0%	
第2位	台湾	16.2%	
第3位	韓国	10.7%	
第4位	米国	6.9%	
第5位	香港	4.5%	
第6位	フランス	3.1%	
第7位	オーストラリア	3.1%	
第8位	英国	2.2%	
第9位	ドイツ	2.0%	
第10位	タイ	2.0%	

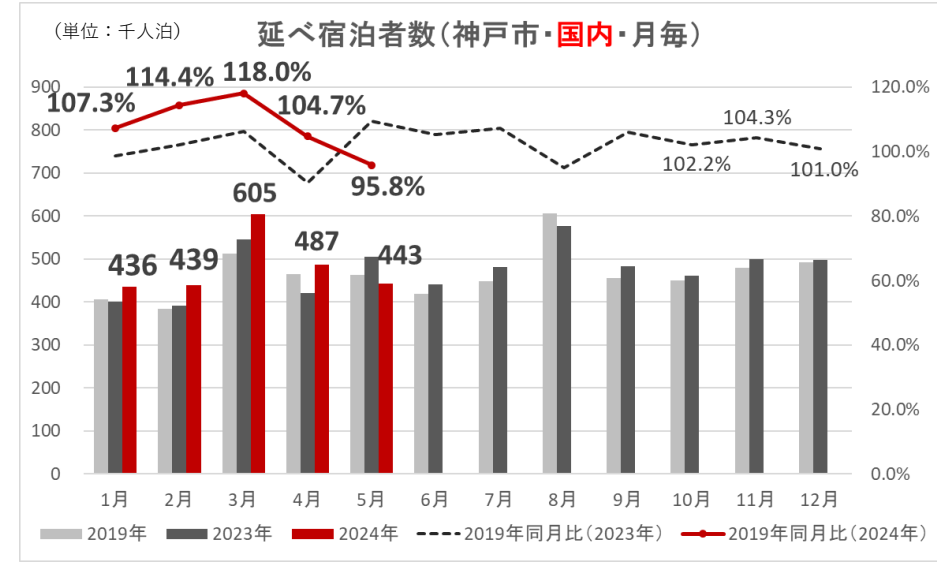
大阪府	5月	2019年同月比	
		シェア	
第1位	中国	23.2%	
第2位	韓国	18.6%	
第3位	台湾	9.1%	
第4位	米国	7.1%	
第5位	香港	4.8%	
第6位	オーストラリア	4.0%	
第7位	シンガポール	3.1%	
第8位	タイ	2.9%	
第9位	フィリピン	2.2%	
第10位	カナダ	2.0%	

京都府	5月	2019年同月比	
		シェア	
第1位	中国	15.9%	
第2位	米国	15.5%	
第3位	台湾	7.8%	
第4位	韓国	5.2%	
第5位	フランス	4.9%	
第6位	オーストラリア	4.8%	
第7位	英国	3.9%	
第8位	カナダ	3.3%	
第9位	ドイツ	3.3%	
第10位	イタリア	3.1%	

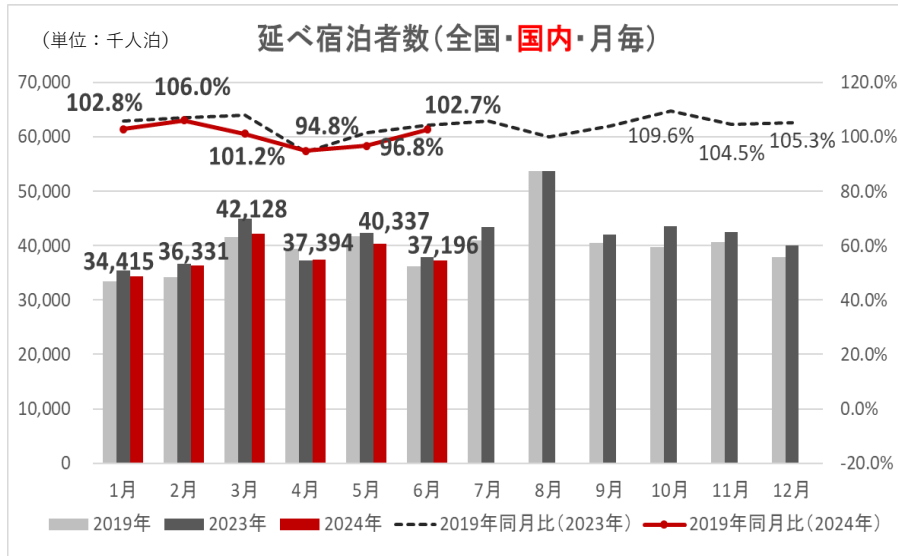
【兵庫県】



【神戸市】



【全国】



5月の傾向・分析

神戸市	コロナ前比	95.8% (5月)
兵庫県	コロナ前比	104.2% (5月)
全国	コロナ前比	96.8% (5月)

※コロナ前比較：2019.1～2019.12をベースに同月比較

神戸：国内は2019年比 95.8%

■ GWはホテル単価の上昇に国内旅行者が付いてこれていないという声が市内ホテルからも上がっていた。また、パラ陸上等によりインバウンドが増加したことから相対的に国内旅行者はコロナ前を下回った。

出典：【全国・兵庫県・神戸市】観光庁「宿泊旅行統計調査」

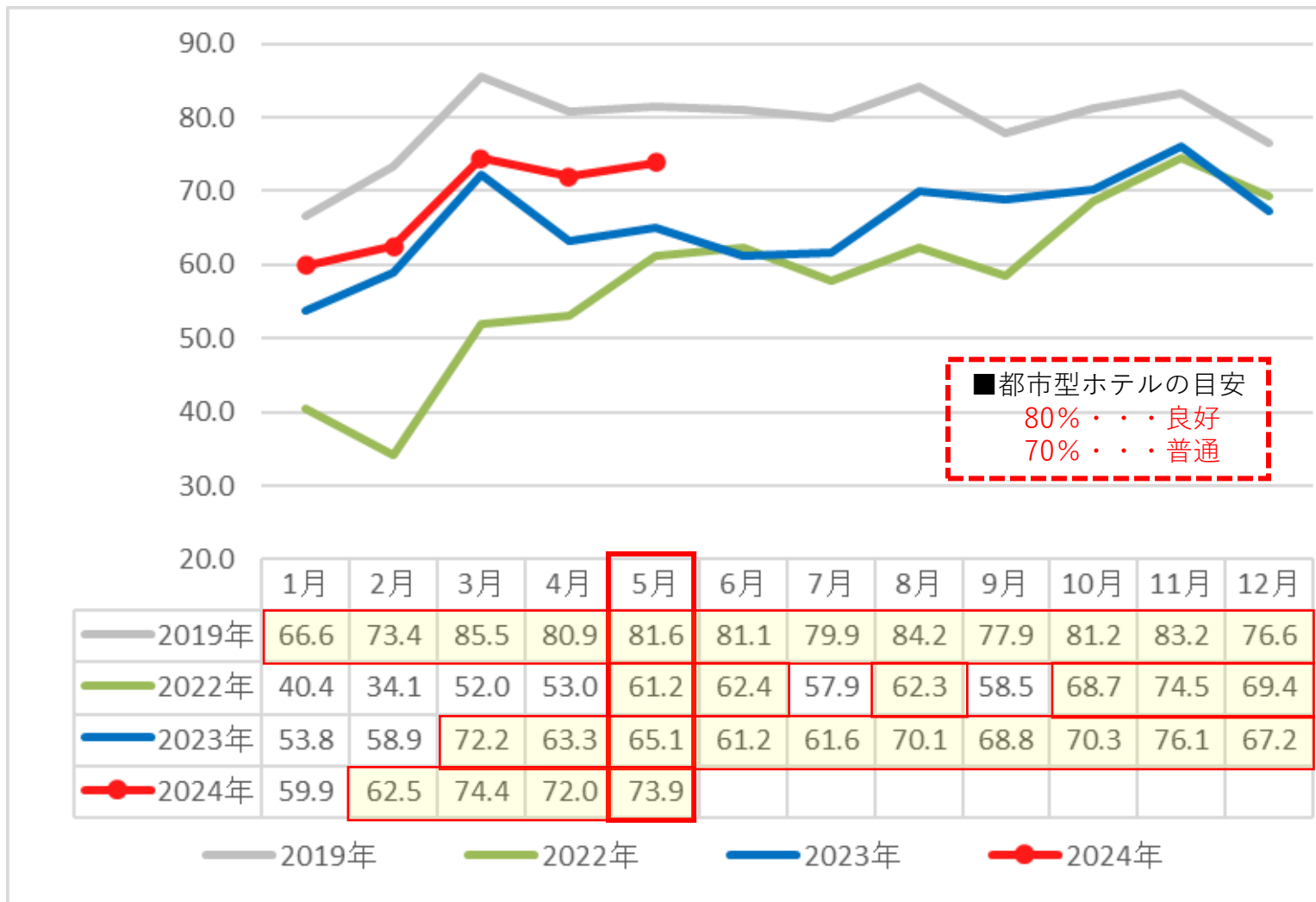
・令和6年5月 第2次速報値

・令和6年6月 第1次速報値

※神戸市 拡大推計値：第2次速報値を用いて神戸観光局で独自試算したもの

市内ホテル平均稼働率

神戸



■都市型ホテルの目安
 80%・・・良好
 70%・・・普通

※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表
 6月 国内ホテル稼働率

全国：75.2%
 (前月比 ±0.0pt)

STRがまとめた6月の国内ホテルの平均客室単価は前年同月に比べて17.2%高い1万9285円だった。前年同月の上昇率(45.0%)より縮小したが、高い伸びが続いている。客室単価は1996年の調査開始以降、6月としては最高だった。稼働率も前年同月比2.1ポイント高い75.2%だった。訪日観光客が高い稼働率を支えている。日本政府観光局(JNTO)によると、6月の訪日客数は313万5600人だった。前年同月に比べ51%増え、単月の実績としては1964年の調査開始以降で最多だった。

全国のインバウンドに関する情報 (訪日外客数)

2024年月別訪日外客数(対2019年比)

全国 外国人



訪日外客数(全国)			
	2019	2024	2019比
5月	2,773,091名	3,040,294名	109.6%
6月	2,880,041名	3,135,600名	108.9%
7月	2,991,189名	3,292,500名	110.1%

- ・7月は、2か月連続での過去最高を記録した。前年同月比で41.9%増、2019年同月比では10.1%増となった。
- ・7月までの累計で21,069,900人となり、過去最速で2,000万人を突破した。
- ・学校休暇により訪日需要の高まりがみられ、前月に引き続き、台湾・フィリピン・米国などで訪日外客数が増加したことが、今月の押し上げ要因となった。
- ・19市場で7月として過去最高を記録したほか、香港・メキシコでは単月過去最高を更新。

	訪日外客数 Visitor Arrivals		
	2019	2024	伸率 Change %
1	2,689,339	2,688,478	0.0
Jan.	(2,345,029)	(2,386,640)	(1.8)
2	2,604,322	2,788,224	7.1
Feb.	(2,341,479)	(2,548,085)	(8.8)
3	2,760,136	3,081,781	11.7
Mar.	(2,411,650)	(2,771,105)	(14.9)
4	2,926,685	3,043,003	4.0
Apr.	(2,640,569)	(2,763,384)	(4.7)
5	2,773,091	3,040,294	9.6
May	(2,455,865)	(2,758,219)	(12.3)
6	2,880,041	3,135,600 *	8.9 *
Jun.	(2,614,533)		
7	2,991,189	3,292,500 *	10.1 *
Jul.	(2,713,329)		
8	2,520,134		
Aug.	(2,206,746)		
9	2,272,883		
Sep.	(1,913,105)		
10	2,496,568		
Oct.	(2,177,382)		
11	2,441,274		
Nov.	(2,145,425)		
12	2,526,387		
Dec.	(2,292,029)		
1~7	19,624,803	21,069,900 *	7.4 *
Jan.-Jul.	(17,522,454)		
1~12	31,882,049		
Jan.-Dec.	(28,257,141)		

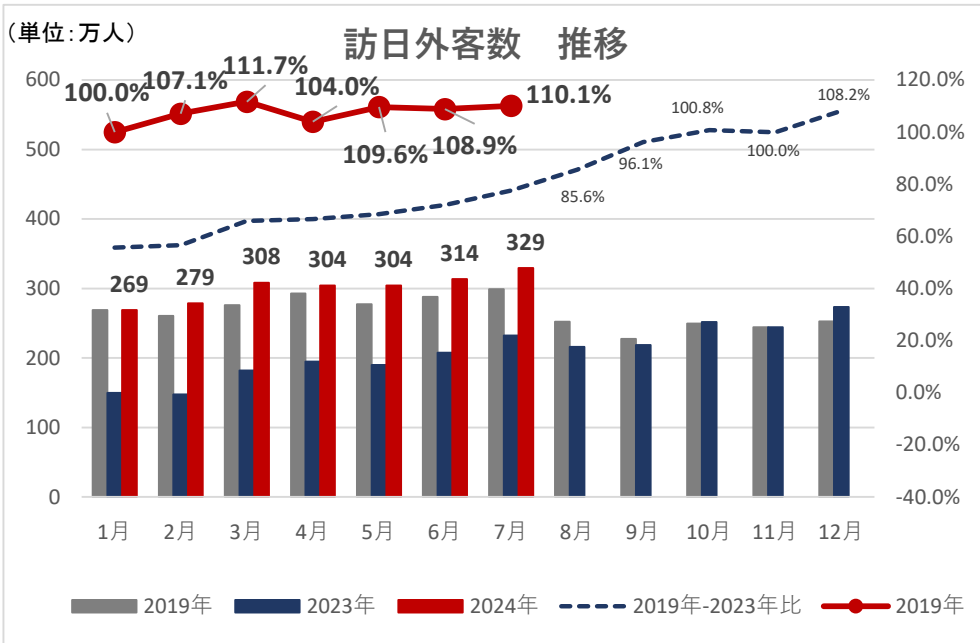
訪日外客数のうち、*印の値は暫定値、その他の値は確定値。
()内は総数のうちの観光客数

- 2022.6.10~ 添乗員付きパッケージ ツアーに限定した訪日観光が再開。
- 9/7~ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージ ツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。
- 10/11~ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明か陰性証明で原則撤廃。
- 2023.4.29~ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めているワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

出典：日本政府観光局(JNTO)8/21プレスリリース「訪日外客数(2024年7月推計値)」



2024年7月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

全国 外国人

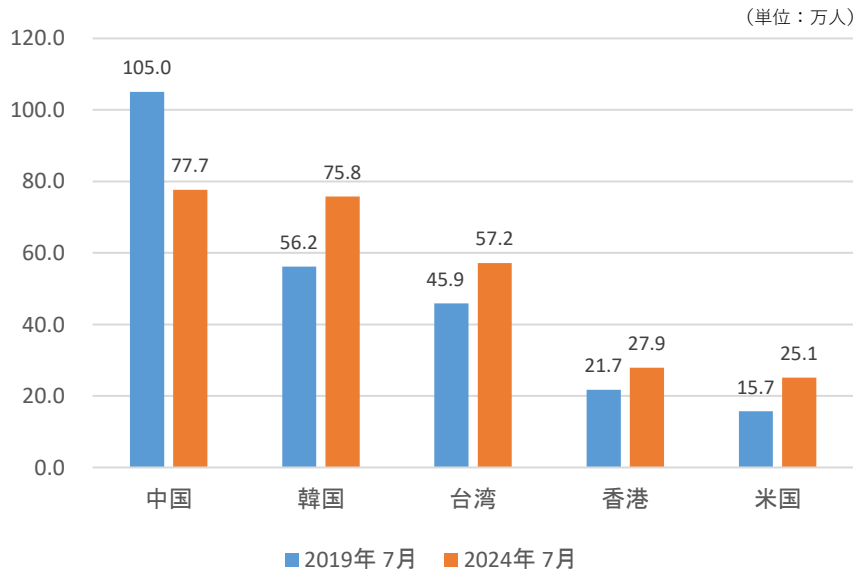


国・地域	総数				2024 総数			
	2019年 7月	2024年 7月	(順位)	2019比 (%)	2019年 1月～7月	2024年 1月～7月	(順位)	2019比 (%)
中国	1,050,420人	776,500人	(1位)	73.9%	5,582,885人	3,844,600人	(2位)	68.9%
韓国	561,675人	757,700人	(2位)	134.9%	4,424,333人	5,199,800人	(1位)	117.5%
台湾	459,216人	571,700人	(3位)	124.5%	2,940,065人	3,550,900人	(3位)	120.8%
香港	216,810人	279,100人	(4位)	128.7%	1,314,699人	1,555,200人	(5位)	118.3%
米国	156,865人	251,200人	(5位)	160.1%	1,031,989人	1,594,100人	(4位)	154.5%



先月に引き続き中国が回復してはいるが、2024年中に19年比まで戻すのは難しいか。3月から5位に下がっていた香港は7月では米国を抜いて4位に戻ってきたので引き続き注視したい。

訪日外客数 各国・地域別ランキング



7月動向

- 7月の訪日外客数は、3,292,500人となり、前年同月比では41.9%増、2019年同月比では10.1%増となった。2019年同月の2,991,189人を約30万人上回り、2か月連続で単月として過去最高を記録した。また、7月までの累計では21,069,900人となり、過去最速で2,000万人を突破した。
- 東アジアや欧州など学校休暇により訪日需要の高まりがみられた市場が前月から大きく拡大したほか、引き続き、東アジアでは台湾、東南アジアではフィリピン、欧米豪・中東地域では米国などで訪日外客数が増加したことが、今月の押し上げ要因となった。
- 23市場のうち19市場（韓国、台湾、香港、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、北欧地域、中東地域）において7月として過去最高を記録したほか、香港、メキシコでは単月過去最高を更新した。
- 昨年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

交通機関に関する情報
(航空業界の状況／クルーズ船の状況)

関西国際	4月	5月	6月
総旅客数(人)	2,393,050	2,486,636	2,504,331
2019年比	87%	90%	92%
国際線 発着数(回)	11,504	11,973	11,684
2019年比	87%	89%	88%
国際線 旅客数(人)	1,895,714	1,945,917	1,986,786
2019年比	87.6%	90.1%	92.2%
うち外国人 旅客数(人)	1,588,937	1,573,975	1,622,905
2019年比	101.3%	106%	105.7%
国内線 旅客数(人)	497,336	540,719	517,545
2019年比	87%	90%	94%

神戸	4月	5月	6月
国内線 発着数(回)	2,768	2,898	2,556
2019年比	112%	110%	106%
国内線 旅客数(人)	270,560	301,220	294,832
2019年比	107%	109%	112%

< 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・国際線旅客数は、外国人旅客数が単月として開港以来過去最高となる162万人を記録し、国際線旅客数全体としては2019年同月比92%まで回復が進みました。
- ・三空港合計の国内線旅客数は、2019年同月比92%、前年同月比98%となりました。
- ・神戸空港発着回数は、前年同期間比93%、2019年比106%。
旅客数は、前月同期間比107%、2019年比112%。

📖 [直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は52ページ](#)、
[2024年6月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は53ページ](#)へ

出典：関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。



入国状況 (人数)	2月	3月	4月	5月	前年 同月比	2019年 同月比
英国	3,051	7,571	5,565	5,222	157%	109%
フランス	3,105	6,650	10,801	9,190	169%	123%
豪州	7,883	12,975	13,744	11,348	186%	126%
米国	11,191	28,915	21,835	25,166	146%	115%
中国	162,589	159,616	185,448	193,030	333%	69%
台湾	110,021	110,630	102,727	114,491	144%	125%
香港	54,751	66,144	47,289	61,059	133%	114%
韓国	239,717	205,604	199,347	217,128	126%	132%
タイ	25,797	34,610	40,790	29,473	126%	110%
マレーシア	18,689	13,118	15,518	13,024	122%	100%
インドネシア	8,201	7,252	16,260	8,502	129%	135%
シンガポール	9,177	15,517	12,101	17,396	123%	187%
合計	654,172	668,602	671,425	705,029	173%	103%

・前月号より前月比→前年同月比に変更
 ・今月号より2020年1月比→2019年同月比に変更

ターゲット国すべてにおいて前年同月比100%を超えており、さらに中国以外はコロナ前を超えていることが分かる。中でもシンガポールは2019年同月比約190%と好調。

ターゲット12か国合計、前年同月比173%

ターゲット12か国合計、2019年同月比103%

▶ ランキング及び前年同月比

- ・1位 韓国：217,128人 / 126% (前年同月比) 132%(2019年同月比)
- ・2位 中国：193,030人 / 333% (前年同月比) 69%(2019年同月比)
- ・3位 台湾：114,491人 / 144% (前年同月比) 125%(2019年同月比)

▶ コロナ前の水準に戻っている国がほとんどだが、シンガポールからの入国者数が好調。

前年同月比 ≒ 147%

※2024.7月速報値

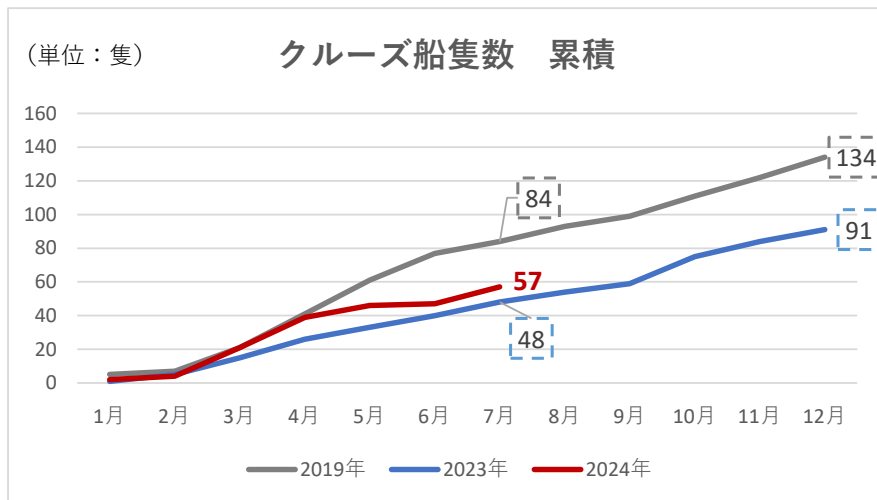
関西国際空港入国者数：831,035人 (6月：812,689人 5月：798,812)

※ターゲット国12か国を含めた全入国者数

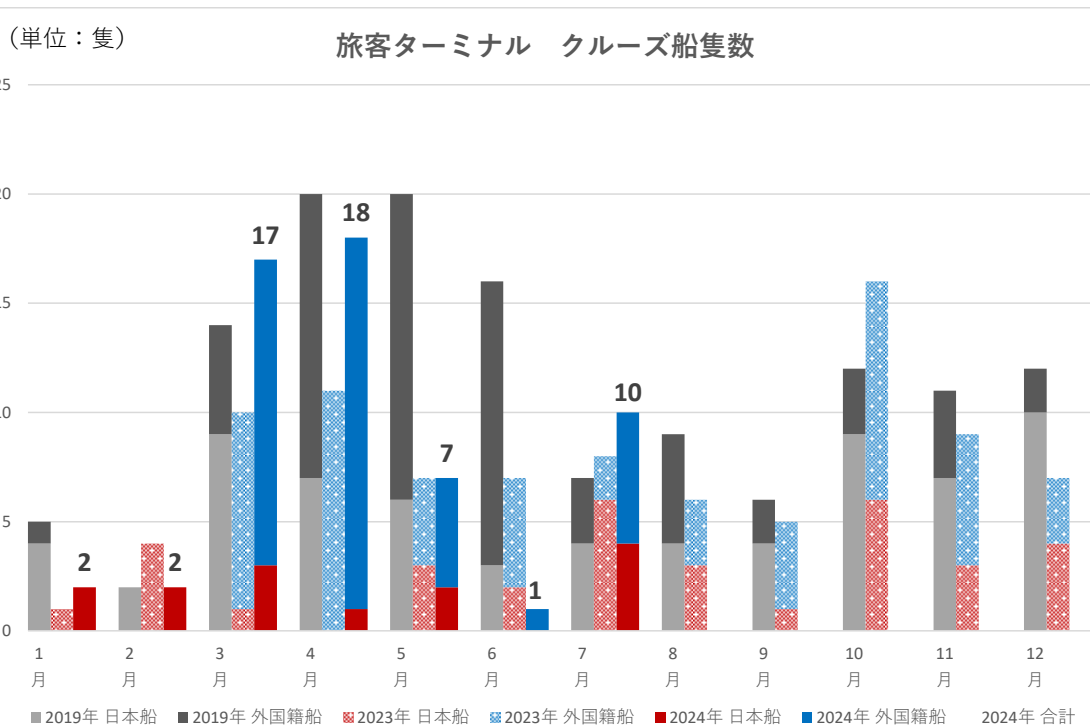
【クルーズ船 隻数】

クルーズ船寄港実績		7月分				
		2024年	2023年	前年比	2019年	2019年比
日本船	隻数	4	6	67%	4	100%
外国籍船	隻数	6	2	300%	3	200%
総合計	隻数	10	8	125%	7	143%
	船客数	15,815	7,235	219%	15,645	101%

(参考グラフB) クルーズ船 隻数の累積



(参考グラフA) クルーズ船 隻数 月別推移



2024年 7月

日本船 : 4 隻

外国籍船 : 6 隻

合計 : 10 隻 が入港

- ・ 合計隻数は10隻で、昨年の8隻と比べて125%となった。
2019年同月比としても143%。
- ・ 累積では2019年比68%となりまだ下回っているが、2023年比では119%と上回っている。

【クルーズ船 船客数】

客船クラス情報

カジュアルクラス

大型客船が中心で、エンターテインメント性が重視される。

クルーズ初心者が挑戦しやすいランク。

プレミアムクラス

中大型客船が中心で、船内は落ち着いたイメージ。ワンランク

上のサービスや施設を楽しむことが可能。

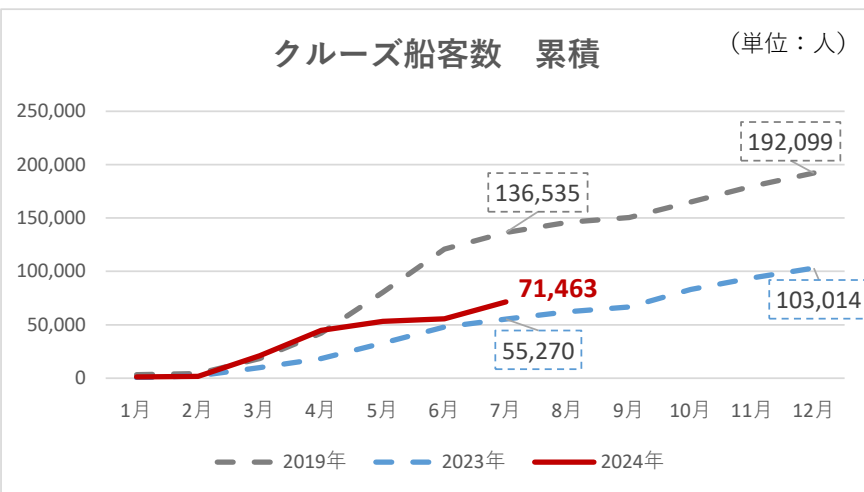
ラグジュアリークラス

中小型客船が中心となり、質の高いサービスを受けられる。大

型客船では入港出来ない小さな港への訪問が可能なのも魅力。

超大型客船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」が上海発着クルーズの途上、神戸へ寄港。乗船客は約5,000人。自由行動客が多くみられ、シャトルバスやポートライナー、タクシーで市街地等へ出かけた。

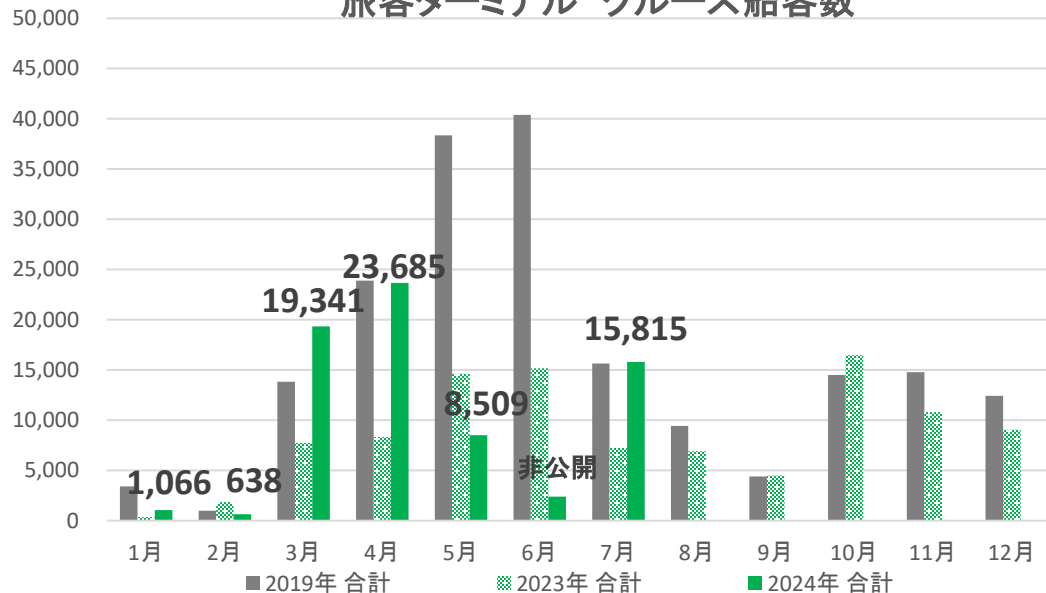
(参考グラフD) クルーズ船 船客数の累積



(参考グラフC) クルーズ船 船客数 月別推移

(単位：人)

旅客ターミナル クルーズ船客数



クルーズの乗船客 市内観光案内所に立ち寄る

7/14 総合ICに本日入港予定の「飛鳥II」が予定通り入港されたか？確認の電話あり。

7/17「セレブレティ・ミレニウム」の入港の影響か？

北野案内所にアジア系を中心に外国人来館者が急増。

7/29「パシフィック・ワールド」乗船予定の方が前入りし、神戸観光+宿泊される。そのような方が、新神戸案内所に多数来所され、神戸観光の質問が相次いだ。

【クルーズ船】9月の入港予定情報

神戸



小型船から超大型船まで多彩な客船が入港を予定しています！

- ・オーストラリアの小型探検船「コーラル・ジオグラファー」が初入港！
- ・昨年初入港したユニークな船首を備える探検船「ナショナルジオグラフィック・レゾリューション」が今年も入港。
- ・超巨大船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」が7月に続いて入港します。

客船名	寄港日時	総トン数	乗客定員 ※クルーは 含めず	主な乗客 ※予測	ランク	入港場所
セブレティ・ミレニウム	9/2(月)8:00～9/3(火)5:00	91,011トン	2,218名	欧米系	プレミアム	ポートターミナル
ナショナルジオグラフィック レゾリューション	9/3(火)8:00～21:30	12,786トン	138名	欧米系	プレミアム	ポートターミナル
スペクトラム・オブ・ザ・シーズ	9/17(火)14:30～9/18(水)5:00	169,379トン	4,246名	中国人 他	カジュアル	ポートターミナル
初 コーラル・ジオグラファー	9/24(火)7:00～23:59	5,602トン	120名	欧米系	プレミアム	中突堤ターミナル
飛鳥II	9/25(水)9:00～17:00	50,444トン	872名	日本人	ラグジュアリー	ポートターミナル
ナショナルジオグラフィック レゾリューション	9/27(金)3:00～21:00	12,786トン	138名	欧米系	プレミアム	ポートターミナル
シルバー・ミュージズ	9/28(土)8:00～9/29(日)4:00	40,791トン	596名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル



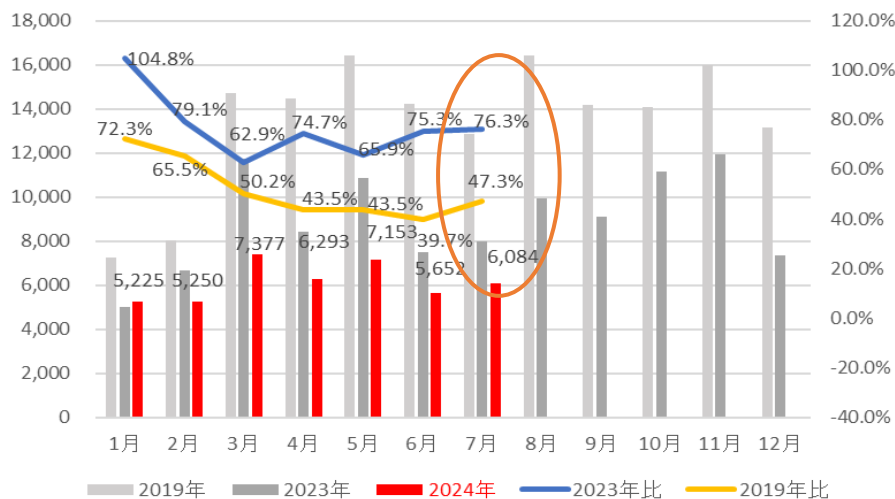
▲ナショナルジオグラフィック・レゾリューション ▲スペクトラム・オブ・ザ・シーズ
9/17「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」入港時には
「神戸市消防音楽隊」による歓迎演奏を予定しています。

※寄港時間の詳細（入港時間・出港時間）は、天候等により変更になる場合があります。最新情報は神戸市港湾局ホームページにてご確認ください。 [神戸市：客船入港予定 \(kobe.lg.jp\)](http://kobe.lg.jp)

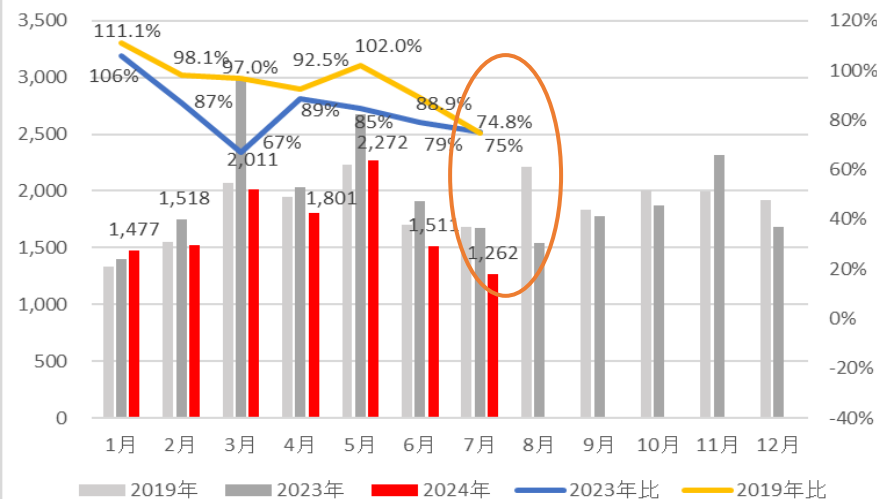
※本資料では参考として客船の「定員数」を掲載しています。実際の「乗旅客数」とは異なりますのでご注意ください。
※客船のランクについてはクルーズの価格帯で分類され、一般的にラグジュアリー>プレミアム>カジュアルの順となります。

神戸市内観光に関する情報
～神戸観光局オリジナルデータ～

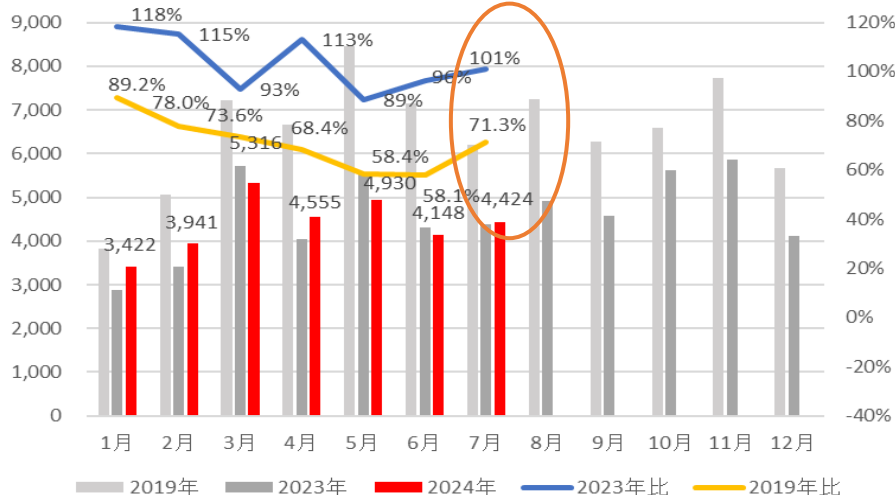
総合IC



北野



新神戸



○総合インフォメーションセンター（JR三宮駅東口南）

前年比76.3%、2019年比47.3%

※駅前工事の影響で、来館者の減少が続いている。

○北野観光案内所（北野異人館街）

前年比75%、2019年比74.8%

○新神戸駅観光案内所（JR新神戸駅構内、改札前）

前年比101%、2019年比71.3%

7月案内所全体件数 11,770件 ⇒ 前月比104.1% 前年同月比83.9% 2019年比 56.7%

国・地域	総合IC	北野	新神戸	合計	割合	
アジア	韓国	300	169	43	512	9.1%
	中国	590	339	125	1054	18.6%
	台湾	333	360	144	837	14.8%
	香港	159	82	28	269	4.8%
	タイ	37	30	20	87	1.5%
	シンガポール	18	1	22	41	0.7%
	マレーシア	22	9	4	35	0.6%
	インドネシア	7	9	2	18	0.3%
	フィリピン	15	2	21	38	0.7%
	ベトナム	4	0	0	4	0.1%
	インド	14	0	35	49	0.9%
	パキスタン	0	0	0	0	0.0%
	バングラデシュ	0	0	0	0	0.0%
その他アジア	1193	13	86	1292	22.9%	
中東	イスラエル	1	1	0	2	0.0%
	トルコ	0	1	0	1	0.0%
	イラン	0	0	0	0	0.0%
	その他中東	9	1	0	10	0.2%
ヨーロッパ	英国	5	3	26	34	0.6%
	フランス	53	49	87	189	3.3%
	イタリア	1	4	24	29	0.5%
	ロシア	5	3	0	8	0.1%
	ギリシャ	0	0	0	0	0.0%
	アイルランド	0	3	0	3	0.1%
その他ヨーロッパ	364	24	149	537	9.5%	
アフリカ	南アフリカ共和国	0	0	0	0	0.0%
	エジプト	0	0	0	0	0.0%
	その他アフリカ	7	0	0	7	0.1%
北アメリカ	米国	43	25	144	212	3.7%
	カナダ	19	2	20	41	0.7%
	メキシコ	5	1	4	10	0.2%
	その他北米	12	0	0	12	0.2%
南アメリカ	ブラジル	2	0	4	6	0.1%
	アルゼンチン	0	0	0	0	0.0%
	コロンビア	0	0	0	0	0.0%
その他中南米	16	0	10	26	0.5%	
オセアニア	オーストラリア	8	0	38	46	0.8%
	ニュージーランド	0	0	6	6	0.1%
	その他オセアニア	0	0	0	0	0.0%
地域不明	0	15	224	239	4.2%	
	(人)	3242	1146	1266	5654	100.0%

〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者3,242人、2019年同月比59.8%、前年同月比88.3%。（8割以上アジア系）
- ・中国 & 台湾からの観光客の増加は依然として目立つ。
- ・中国、台湾、韓国、香港からの観光客でインバウンド全体の43%を占める。
- ・特に中国人の個人旅行者が増加傾向。
- ・ここ数か月は中国人の個人旅行が目立つが、ノープランでの来館者はほぼおらず人気施設の「神戸どうぶつ王国」や「六甲山牧場+六甲山/摩耶山観光」（どちらも企画切符）の問い合わせに来られる方が多い。
- ・対して欧米系のインバウンドの個人旅行者はノープランがほとんど。周遊バスを利用して市内観光をする方が多い。

〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者1,146人、2019年同月比82.2%、前年同月比122.6%。
- ・アジア系が最も多く1,014名、全体の約90%を占めた。アジア系の中では台湾360名（約36%）、続いて中国339名、韓国169名の順。この3地域で全体の86%を占める。
- ・ヨーロッパではフランスが49名で一番多く、その他ヨーロッパ約10ヶ国から来所。
- ・南北アメリカ、豪州地域では米国25名、カナダ2名、メキシコ1名の来所。
- ・中東では、イスラエル、トルコ、キプロスからそれぞれ1名の来所。
- ・台湾の方で北野天満神社や姫路城への行き方の質問があった。
- ・米国の方からは夜景の質問やハーブ園が非常に良かったとの声があった。
- ・英国男性の方で、母親が神戸生まれ。自身のルーツを辿りたい、と案内所に来られた。

〔新神戸観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者1,266人、2019年同月比280%、前年同月比88.0%。
- ・7月に入り、水着で入れる温泉、遊泳可能な河川、日傘や帽子を購入できるお店の問い合わせなど、夏特有の問い合わせが多かった。
- ・JRの切符購入・発券・使用方法や乗り場・発車時間・HelloKITTY新幹線に関する質問などが増加。
- ・神戸以外の交通案内や観光案内など問い合わせのエリアが広がっている。
- ⇒ 姫路、淡路島、直島、岡山、宮島、広島、博多、名古屋、浜松、新富士、高山、草津、横浜、東京など。
- ・古い写真を手に、日本にルーツのある親戚を探す米国からのお客様のお手伝いをする。

7月案内所全体件数 5,654件 ⇒ 前月比130.3%
2019年比77.8% 前年同月比93.5%



○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔件数状況〕 7月中下旬~8月中旬は平日300件ほど・休日420件ほど。
- 〔客層〕
 - 国内、年配のご夫婦、男性、女性ともご年配からの問い合わせが非常に多い。
 - インバウンドは、アジア系（中国人、台湾、香港など）のファミリー・グループなど。
- 〔行き先〕
 - 国内、どうぶつ王国・須磨シーワールド・六甲山・アトア・異人館・須磨など。
 - アジア系、どうぶつ王国・ハーブ園・有馬・六甲山&摩耶山夜景、牧場・淡路島など。
 - 欧米系、ハーブ園・六甲山・ハーバーランド・須磨海岸・人と防災未来センターなど。
- 〔内容〕
 - 酷暑のため、国内外共にループバス1日券を購入し周遊するケースが多い。
 - お盆が近づき、花火大会や孫が喜ぶ観光&イベントの問い合わせが増える。
 - シーワールドに電話がつながらず、案内所に掛かってくる電話が多い。（対応強化され8月中旬解消）
 - 8月に入りポートアイランド内大学のオープンキャンパスへの行き方や関連の質問が増えた。

○ 北野観光案内所

通所営業時間
9-18時 (3月~10月)
9-17時 (11月~2月)

- 〔件数状況〕 7月中下旬~8月中旬は平日95件ほど・休日110件ほど。
- 〔客層〕
 - 国内、お子様連れのファミリー層（夏休みのため）、グループ客など。
 - インバウンドは、アジア系（特に中国や台湾のファミリー層）多い・フランスやベルギーの団体客など。
- 〔行き先〕
 - 国内、異人館全般・ハーブ園・六甲、摩耶山・中華街・ベイエリアなど
 - インバウンド、異人館・ハーブ園・北野天満神社・ベイエリア・神戸ビーフの店など。
- 〔内容〕
 - 酷暑のため案内所で休憩される方が多く、パネルでの説明が大変喜ばれる。うちの配布も好評。
 - 夏休みに入り国内外を問わずお子様連れのファミリー層が非常に多い。お子様が喜ぶトリックアートやベンの家などの案内が多い。

○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

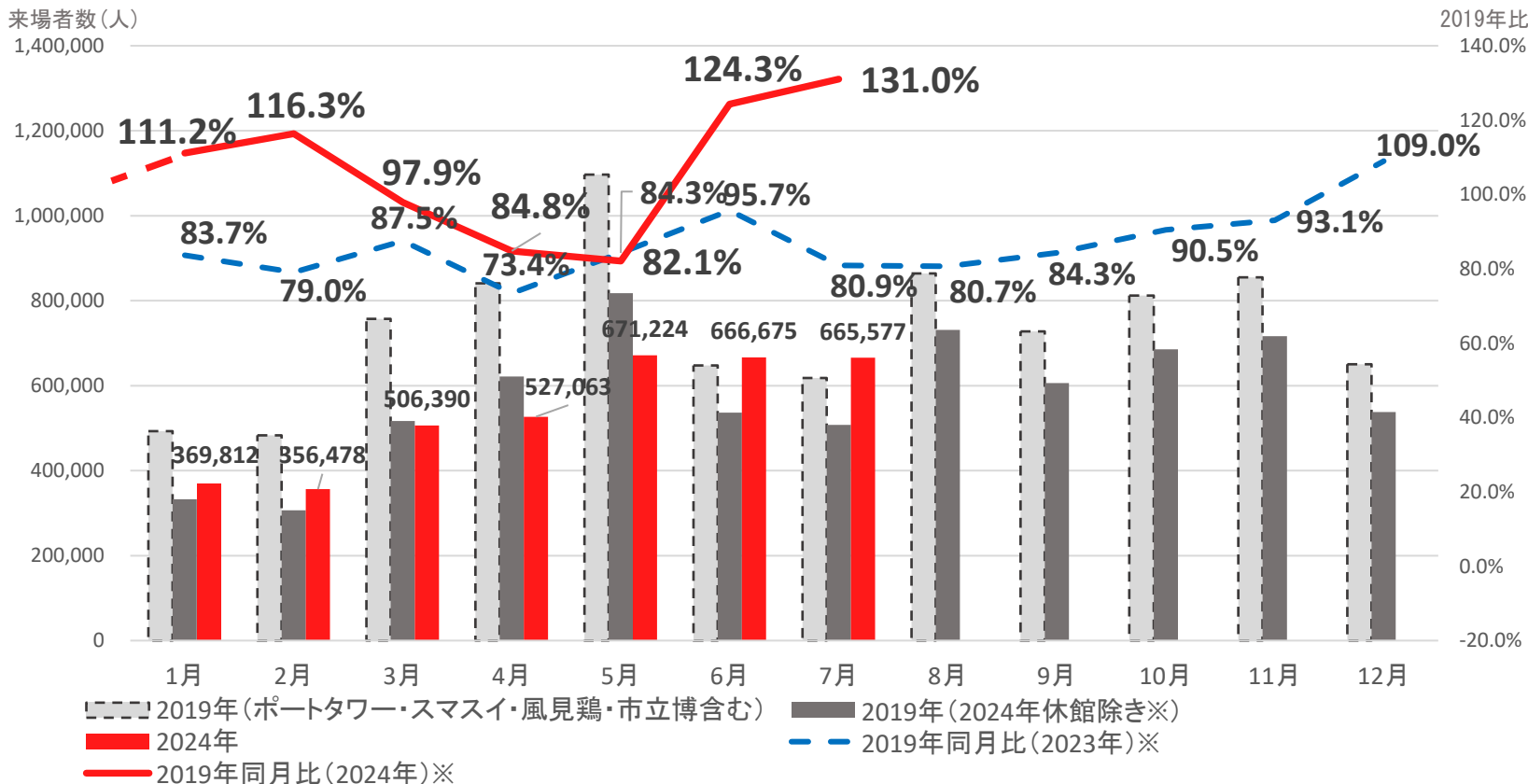
- 〔件数状況〕 7月中下旬~8月中旬は平日190件ほど・休日240件ほど。
- 〔客層〕
 - 国内、ファミリー層・イベント（高校野球観戦やオープンキャンパス）参加者・応援者など。
 - インバウンドは、アジア系ファミリー（台湾や中国）など。
- 〔行き先〕
 - 国内、市内観光・ハーブ園・どうぶつ王国・甲子園・神戸大学・須磨シーワールドなど。
 - インバウンド、ハーブ園・布引の滝・淡路島・ベイエリア・市内観光など。
- 〔内容〕
 - 暑さのためループバスや1 day・2 dayパスを購入し市内観光を行うケースが多い。
 - 高校野球応援、神戸大学オープンキャンパス、ダンスフェスティバル、スーパーサイエンスハイスクールなど生徒向けイベントの参加者やその家族など、その流れで神戸観光を行うための問い合わせ。

主要市内観光施設来場者数 (2024.7)

神戸



- ・7月の来場者数は、コロナ前の水準を超え131.0%で推移。
- ・インバウンドはアジア圏からの来訪が多く、国籍としては韓国や中国。FIT利用が多い印象。



※2019年比は、比較時点で改修中の施設除いて比較 (2023年通年：ポートタワー、2023年6月～：スマスイ、2023年10月～：風見鶏の館、神戸市立博物館)
 (2024年1月～：ポートタワー、スマスイ、風見鶏の館、神戸市立博物館、北野工房のまち、
 4月～：スマスイ、風見鶏の館、北野工房のまち、6月～：風見鶏の館、北野工房のまち)

※2019年の来場者数は、2024年時点で改装中の施設を含んだグラフと、含まないグラフ両方を掲載。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月計
2019年(ポートタワー・スマスイ・風見鶏・市立博含む)	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2019年(2024年休館除き※)	332,680	306,441	517,159	621,394	817,589	536,380	507,947	731,188	606,214	685,602	716,483	538,109	6,917,186
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496	516,670	395,040	504,930	500,273	595,734	651,646	580,809	6,632,715
2024年	369,812	356,478	506,390	527,063	671,224	666,675	665,577						3,763,219
2019年同月比(2023年)※	83.7%	79.0%	87.5%	73.4%	84.3%	95.7%	80.9%	80.7%	84.3%	90.5%	93.1%	109.0%	
2019年同月比(2024年)※	111.2%	116.3%	97.9%	84.8%	82.1%	124.3%	131.0%						

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

集計対象施設：全20施設(ラインの館、神戸ポートタワー、王子動物園、神戸どうぶつ王国、神戸布引ハーブ園、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、道の駅フルーツ・フラワーパーク大沢など) 45

神戸市内大型施設の主な催事情報(9～10月) 8月21日時点

神戸

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



9月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目	8/31～1日 第60回日本眼光学学会総会 5日 Discover KOBE:Learn about Kobe's Industry Initiatives	1日 19th ANNUAL NEW ORDER CHOPPER SHOW & BARBARIAN CIRCUS 2日 下水道用管路資器材研修会 5～6日 国際フロンティア産業メッセ2024	7～8日 浦島坂田船 SUMMER TOUR 2024 Wedding	6日 北山宏光 (ZOO) 7日 今井美樹		7日 関西学生アメリカンフットボールリーグ戦DEVI
2週目	7～8日 第33回日本リウマチ学会近畿支部学術集会			8日 沢田研二 12日 錦戸亮 14～15日 麻倉もも	11日 十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業 14日 神戸市内管弦楽団 第164回定期演奏会『光さす闇』	14～16日 近畿高等学校テニス大会/テニス場
3週目	20～21日 ARO協議会第11回学術集会 ～AROの多様性と可能性～	14～15日 アート&てづくりバザールinKOBE	15日 Inori Minase LIVE TOUR 2024 heart bookmark	20日 グッドクルー 21日 ディズニー・オン・クラシック	14～15日 貞松・浜田バレエ団 創作リサイタル36 21～22日 第48回東西落語名人選	
4週目	24～27日 IEEE Cluster 2024		22～23日 Way V concert (On The Way) In Japan	22日 Brand New Musical Concert 2024 23日 西川きよし	28日 神戸市混声合唱団 秋の定期演奏会『現代の祈りとにしえの世俗』	28～29日 兵庫県中学校陸上競技新人大会/ユニバー記念競技場
5週目		29日 第18回関西がごしまファンデー	29日 新日本プロレスリング DESTRUCTIONinKOBE		29日 神戸花月 ～秋の特別公演2024～	
10月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目	4～5日 第143回中部日本整形外科・災害外科学会・学術集会			1～2日 JUJU 20th ANNIVERSARY CONCERT	1日 劇団四季 ジーザスクライスト・スーパースター	5日 兵庫陸上競技秋季記録会高校の部/ユニバー記念競技場 6日 神戸市総合スポーツ大会陸上競技/ユニバー記念競技場
2週目	9～11日 令和6年度日本水道協会全国会議 13日 第34回兵庫県透析合同研究会	9～11日 令和6年度日本水道協会全国会議	12～13日 HYDE (ハイド) (INSIDE) LIVE 2024	9～10日 NCT YUTA 11日 中村勘九郎・七之助 錦秋歌舞伎特別公演	13日 神戸フィルハーモニック第88回定期演奏会	12～13日 兵庫陸上競技秋季記録会/ユニバー記念競技場
3週目	16～17日 第62回全国大学保健管理研究集会 17日 国立大学保健管理施設協議会第16回理事会 18日 国立大学保健管理施設協議会総会 19～20日 日本LD学会第33回大会	19～20日 日本LD学会第33回大会	19～20日 AIMYON (あいみよん) TOUR 2024-2025兵庫	14日 おかあさんといっしょ 20日 WAHAHA本舗	16日 稲垣潤一 20日 神戸男声合唱団 第47回定期演奏会	14日 第43回兵庫マスタース陸上競技大会/ユニバー記念競技場 20日 兵庫県小学生陸上記録大会/ユニバー記念競技場
4週目	22～25日 コンピュータセキュリティシンポジウム 2024	24～26日 Complex Cardiovascular Therapeutics 27日 マイナビインターンシップキャリア&発見フェア 神戸会場		23日 舟木一夫 25日 WATWING 26日 THE ALFEE		26～28日 兵庫県テニス新人戦/テニス場 26～27日 神戸市小学生陸上記録大会/ユニバー記念競技場
5週目	27～28日 第50回反応と合成の進歩シンポジウム 31～11/3日 第32回日本消化器関連学会週間	31～11/3日 第32回日本消化器関連学会週間		29日 平井大 31～11/1日 玉置浩二	27日 学園都市交響楽団 第11回定期演奏会	27日 第46回マーチングバンド関西大会/グリーンアリーナ神戸 30日 兵庫県警察柔道大会/グリーンアリーナ神戸

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

参考資料集

2024年7月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

全国 外国人



国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 7月	2024年 7月	伸率(%)	2019年 1月～7月	2024年 1月～7月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,991,189	3,292,500	10.1	19,624,803	21,069,900	7.4
韓国	South Korea	561,675	757,700	34.9	4,424,333	5,199,800	17.5
中国	China	1,050,420	776,500	-26.1	5,582,885	3,844,600	-31.1
台湾	Taiwan	459,216	571,700	24.5	2,940,065	3,550,900	20.8
香港	Hong Kong	216,810	279,100	28.7	1,314,699	1,555,200	18.3
タイ	Thailand	73,202	53,500	-26.9	756,797	671,800	-11.2
シンガポール	Singapore	21,716	28,100	29.4	235,799	328,100	39.1
マレーシア	Malaysia	22,957	19,300	-15.9	260,886	261,100	0.1
インドネシア	Indonesia	25,215	29,600	17.4	241,088	293,400	21.7
フィリピン	Philippines	37,771	55,500	46.9	332,891	457,300	37.4
ベトナム	Vietnam	40,762	49,700	21.9	294,009	381,500	29.8
インド	India	13,222	14,900	12.7	106,162	136,800	28.9
豪州	Australia	34,873	48,600	39.4	361,779	510,600	41.1
米国	U.S.A.	156,865	251,200	60.1	1,031,989	1,594,100	54.5
カナダ	Canada	29,285	48,200	64.6	213,054	320,500	50.4
メキシコ	Mexico	8,661	16,000	84.7	40,285	80,100	98.8
英国	United Kingdom	28,928	32,900	13.7	214,626	251,400	17.1
フランス	France	34,634	37,400	8.0	194,944	221,700	13.7
ドイツ	Germany	18,593	22,700	22.1	137,072	180,300	31.5
イタリア	Italy	13,566	18,400	35.6	88,334	114,500	29.6
スペイン	Spain	15,771	18,700	18.6	67,193	84,600	25.9
ロシア	Russia	9,005	5,700	-36.7	64,945	46,800	-27.9
北欧地域	Nordic Countries	14,764	15,900	7.7	87,109	89,600	2.9
中東地域	Middle East	6,813	12,800	87.9	52,883	88,100	66.6
その他	Others	96,465	128,400	33.1	580,976	807,100	38.9

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

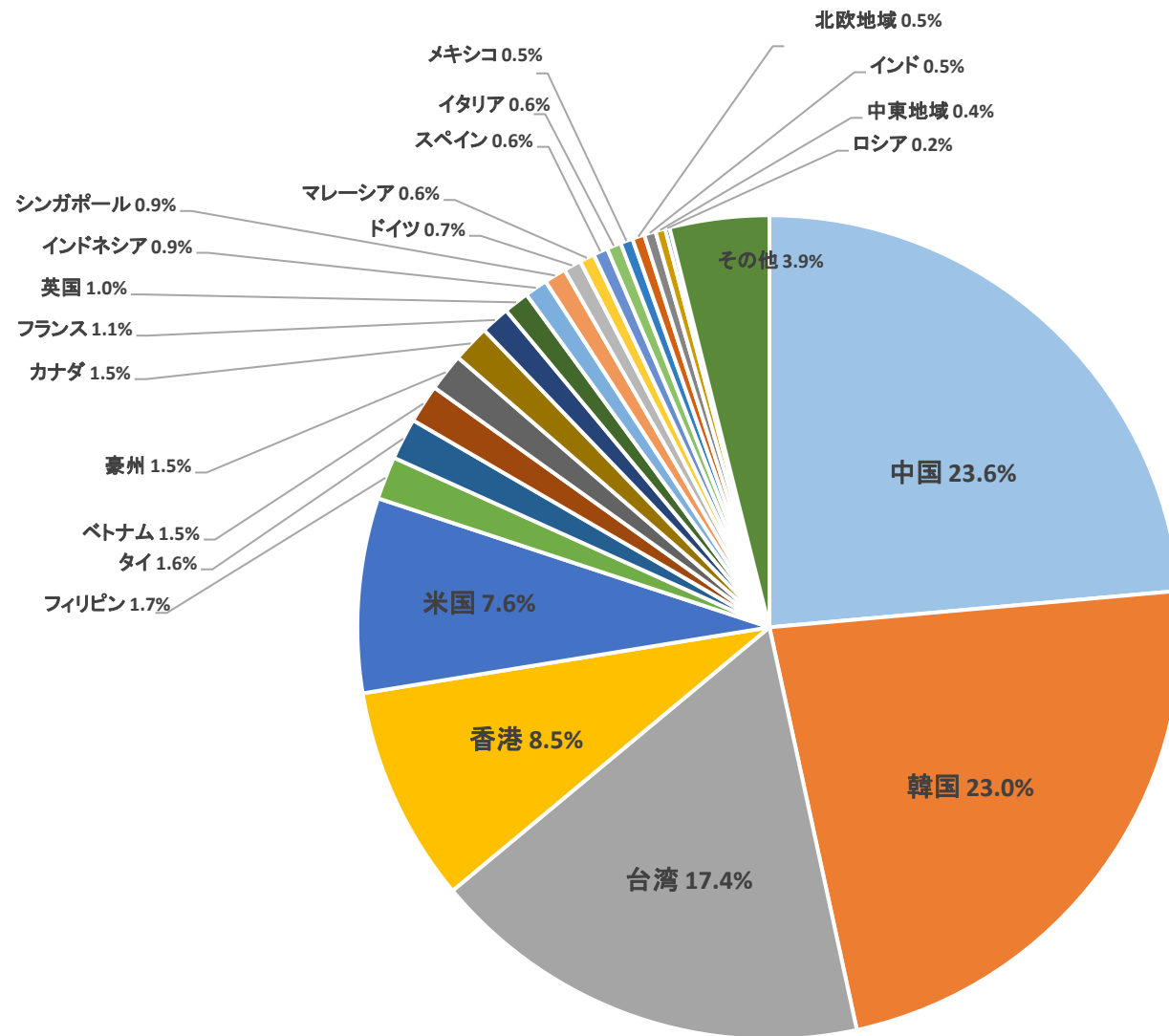
※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

※赤マーカー・・・当月の過去最高を記録した国・地域

※黄色マーカー・・・単月での過去最高を記録した国・地域

2024年7月訪日外客数の各国・地域別の内訳

全国 外国人



※北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド

※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

宿泊タイプ別客室稼働率

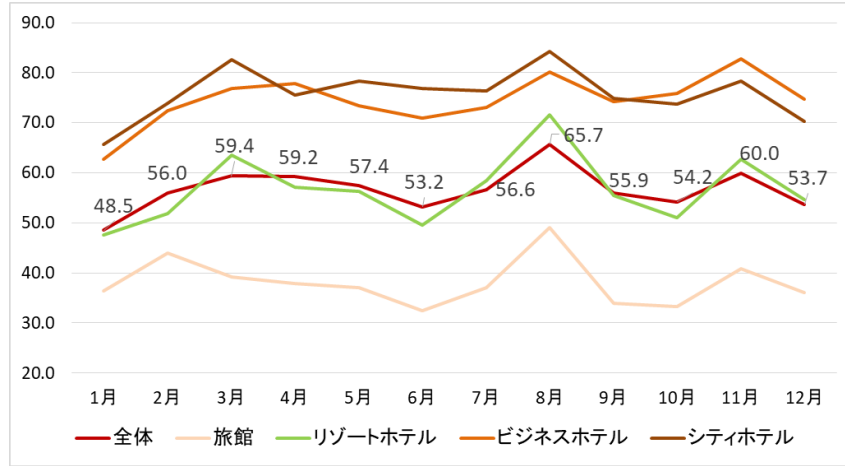
全国 関西



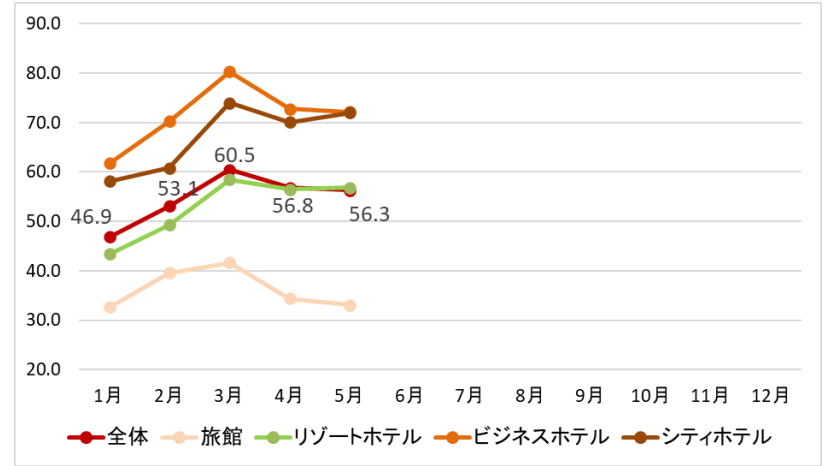
2019年／2024年比較

【兵庫県】

(2019年)

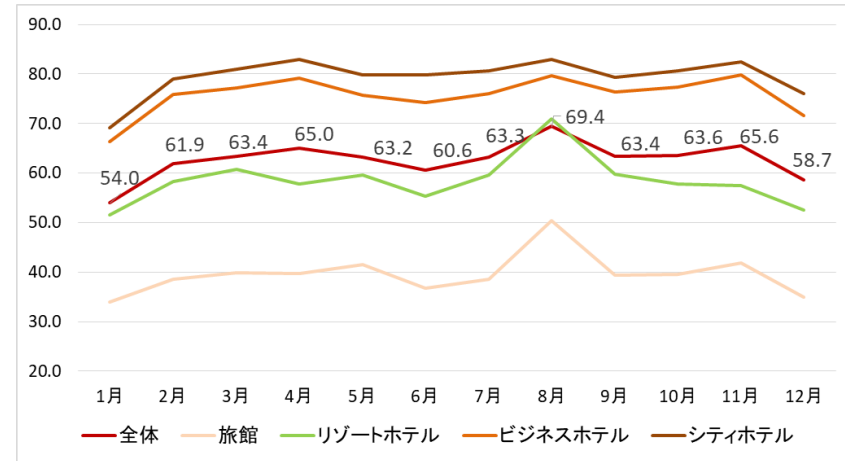


(2024年)

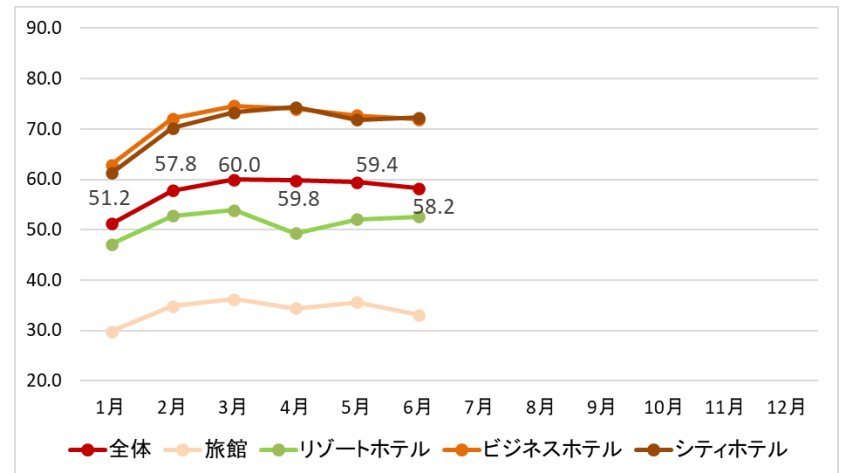


【全国】

(2019年)



(2024年)



世界の運航状況

2023年8月と比較した2024年8月の座席数

地域	前年比
世界	106%
西欧	106%
東欧	111%
北米	103%
中米	96%
南米	108%
東アジア	107%
東南アジア	108%
中東	105%
太平洋（豪州ほか）	100%

出典：OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出
<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

- ・中国市場が引き続き成長を続けており、日本とタイはその回復の恩恵を受けている。両国とも、2023年8月以降、座席容量が約2倍になっている。
- ・日本⇄中国間は2019年8月と比較して15%減少しており、コロナ前のレベルに回復するにはまだ時間がかかることが予想される。

世界の座席利用率(2024年6月)

ポイントは2023年同月差
※PLF

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	82.9% 2.3p	83.0% -0.2p	日本	73.1% -0.1p
欧州	87.7% -0.2p	87.4% -0.6p	中国	83.0% 5.9p
北米	87.6% -1.6p	88.7% -1.6p	インド	87.1% -3.6p
中南米	84.2% 1.4p	85.1% -0.2p	米国	86.8% -1.7p
中東	79.5% 0.3p	79.7% 0.1p	豪州	81.0% 0.2p
合計	85.0% 0.5p	85.0% -0.3p	合計	84.5% 3.8p

出典：IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

※PLF（passenger load factor, load factor）
客の入り（満席度合い）を示す値

- ・6月の業界全体の旅客キロ数（RPK）は前年比109%。
- ・国際線旅客数は前年比112%の伸びを示した。ほとんどの地域で2桁成長を維持した。

※RPK（Revenue Passenger-Kilometers）
各有償旅客が搭乗し、飛行した距離の合計。有償旅客数×輸送距離

関西国際空港・神戸空港の利用状況(2023年7月～2024年6月) 8月9日時点

関西



関西国際	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
総旅客数(人)	2,127,500	2,269,046	2,103,864	2,283,045	2,248,330	2,343,066	2,219,780	2,344,914	2,589,988	2,393,050	2,486,636	2,504,331
2019年比(%)	76%	79%	85%	91%	88%	92%	85%	94%	90%	87%	90%	92%
国際線 発着数(回)	9,663	9,903	9,918	10,361	10,422	11,168	11,128	10,504	11,787	11,504	11,973	11,684
2019年比(%)	70%	72%	78%	81%	81%	81%	81%	88%	88%	87%	89%	88%
外国人 旅客数(人)	1,206,378	1,214,915	1,117,245	1,331,393	1,315,362	1,462,590	1,388,558	1,454,941	1,471,730	1,588,937	1,573,975	1,622,905
2019年比(%)	78.7%	87.8%	96%	101.7%	99.5%	110.4%	97.6%	105.3%	104.8%	101.3%	106%	105.7%
国内線 旅客数(人)	597,974	619,088	606,585	621,524	560,494	535,880	502,062	536,065	608,344	497,336	540,719	517,545
2019年比(%)	98%	94%	102%	110%	99%	97%	91%	102%	95%	87%	90%	94%

神戸	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
国内線発着 回数(回)	3,059	2,919	2,897	3,090	3,084	2,887	2,743	2,680	2,934	2,768	2,898	2,556
2019年比(%)	119%	107%	104%	111%	109%	94%	98%	122%	118%	112%	110%	106%
国内線 旅客数(人)	290,661	313,651	296,352	312,315	289,069	270,485	260,577	276,459	304,933	270,560	301,220	294,832
2019年比(%)	103%	95%	98%	106%	97%	95%	93%	112%	106%	107%	109%	112%

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典：関西エアポートニュースリリースより作成

神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2023年7月～2024年6月) 8月9日時点

神戸



路線	内容	23.7月	8月	9月	10月	11月	12月	24年1月	2月	3月	4月	5月	6月
新千歳	旅客数(人)	54,162	55,414	53,866	50,225	43,196	42,492	46,235	52,002	53,622	40,345	51,845	58,105
	利用率(%)	86.3	91.3	88.4	79.2	70.4	66.3	73.5	88.5	84.9	56.0	71.0	84.4
青森	旅客数(人)	3,566	4,113	3,357	3,669	2,815	831	899	1,455	2,192	2,133	2,706	2,604
	利用率(%)	68.5	81.7	66.6	70.4	57.3	61.8	67.3	62.3	42.8	42.3	52.8	51.7
花巻	旅客数(人)	3,304	4,168	3,508	3,508	2,998	1,206	1,097	1,165	2,586	1,282	2,026	2,235
	利用率(%)	63.4	82.7	69.7	67.4	59.5	65.5	82.1	49.5	51.4	25.6	41.6	44.3
仙台	旅客数(人)	14,945	18,479	18,116	19,023	18,105	15,938	13,858	14,970	17,583	14,305	15,943	15,138
	利用率(%)	68.1	88.5	85.3	86.7	85.2	72.6	63.1	72.9	80.1	67.3	73.8	71.3
新潟	旅客数(人)	-	1,305	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利用率(%)	-	77.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城	旅客数(人)	22,222	27,430	23,125	25,985	25,650	22,447	20,017	19,725	25,375	22,311	23,861	22,643
	利用率(%)	67.5	86.1	72.6	78.9	80.5	68.2	61.1	64.8	77.1	70.0	73.7	71.1
羽田	旅客数(人)	70,971	75,956	74,804	78,029	75,378	76,490	68,498	69,536	76,756	75,243	80,574	77,580
	利用率(%)	79.1	88.0	86.0	86.1	87.0	84.6	78.5	86.1	88.1	79.4	84.2	84.4
松本	旅客数(人)	7,489	7,906	7,766	8,125	7,173	5,498	5,280	5,100	6,308	4,385	5,407	5,788
	利用率(%)	71.9	78.5	77.2	78.0	73.3	54.6	53.0	55.2	62.6	43.8	54.9	58.9
高知	旅客数(人)	2,592	3,149	2,666	2,638	2,458	2,239	1,988	1,353	1,613	260	485	-
	利用率(%)	49.8	63.5	52.9	50.7	48.8	43.1	38.3	28.7	32.6	38.7	48.1	-
長崎	旅客数(人)	22,591	24,780	25,593	26,987	25,011	22,927	21,952	23,562	26,906	24,502	26,369	22,764
	利用率(%)	68.6	81.9	80.3	83.3	78.5	69.6	69.6	76.5	81.7	76.9	81.4	72.7
鹿児島	旅客数(人)	14,167	16,500	17,183	18,301	17,471	16,278	16,543	16,758	17,119	15,764	18,153	16,233
	利用率(%)	64.5	83.2	80.9	83.4	82.9	74.2	75.4	81.6	78.6	74.8	84.8	76.4
那覇	旅客数(人)	59,661	59,058	52,309	60,584	55,432	51,647	51,006	57,917	61,811	56,997	59,576	56,992
	利用率(%)	72.5	83.5	70.9	79.4	75.1	67.7	67.2	81.2	81.0	76.3	77.2	75.8
下地島	旅客数(人)	8,584	7,796	8,487	9,318	8,224	7,095	7,019	7,510	8,203	8,203	8,892	9,247
	利用率(%)	78.2	84.7	82.7	84.9	77.4	64.7	64.0	73.2	74.7	79.9	82.4	87.1
合計	旅客数(人)	284,254	306,054	290,780	306,392	283,911	265,088	254,392	271,053	300,074	265,730	295,837	289,329
	利用率(%)	74.5	85.8	80.0	81.4	78.1	71.6	69.8	79.2	80.6	70.2	76.8	77.7